

## (9) まちづくり施設

まちづくりセンターは、地区団体のまちづくり活動の拠点、地区と行政とのパイプ役とするため、平成20年度に従来の公民館から位置付けを変更した施設であり、市内26地区全てに配置されている。

住みよい社会と豊かな生活づくりのために地域の諸団体が活動する場であるとともに、従来公民館で実施していた社会教育事業を行うほか、諸証明書の交付を行う市民サービスコーナーも併設されている。

### ① 施設基本情報と配置

表4-12. まちづくり施設における基本情報及び稼働率

施設名	地区	延床面積(㎡)	平成25年人口(人)	人口100人当り面積(㎡/人)	運営	貸部屋稼働率*2			
						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
吉原まちづくりセンター	吉原	1,065.77	12,630	8.438	直営	36.9%	41.3%	38.7%	39.5%
伝法まちづくりセンター	伝法	1,177.98	12,513	9.414	直営	35.9%	20.4%	17.5%	19.9%
今泉まちづくりセンター	今泉	936.94	13,135	9.194	直営	31.3%	31.2%	28.0%	30.6%
今泉まちづくりセンター分館*1	今泉	270.67	—	—	直営	—	—	—	—
神戸まちづくりセンター	神戸	627.42	3,813	16.455	直営	22.8%	22.4%	17.8%	18.6%
広見まちづくりセンター	広見	664.49	13,474	4.932	直営	42.3%	40.2%	39.0%	39.5%
青葉台まちづくりセンター	青葉台	772.89	8,584	9.004	直営	23.9%	25.3%	26.9%	26.3%
元吉原まちづくりセンター	元吉原	885.47	8,580	10.320	直営	36.3%	36.5%	33.9%	36.1%
須津まちづくりセンター	須津	628.11	11,623	5.404	直営	36.0%	36.6%	36.9%	34.2%
浮島まちづくりセンター	浮島	467.69	1,788	26.157	直営	18.5%	13.0%	19.7%	13.8%
吉永まちづくりセンター	吉永	1,166.93	7,834	14.896	直営	32.6%	36.5%	39.3%	39.5%
吉永北まちづくりセンター	吉永北	574.41	3,271	17.561	直営	13.6%	15.4%	14.6%	15.7%
原田まちづくりセンター	原田	873.22	7,021	12.437	直営	29.7%	29.6%	32.0%	30.0%
富士見台まちづくりセンター	富士見台	735.35	6,946	10.587	直営	44.7%	42.9%	35.3%	34.3%
大淵まちづくりセンター	大淵	1,160.78	13,518	8.587	直営	42.4%	38.6%	39.1%	35.6%
富士駅北まちづくりセンター	富士駅北	947.53	12,842	7.378	直営	35.3%	34.2%	34.3%	33.1%
富士北まちづくりセンター	富士北	1,033.33	8,301	12.448	直営	46.5%	44.7%	44.4%	44.5%
富士駅南まちづくりセンター	富士駅南	998.79	11,980	8.337	直営	33.3%	31.7%	30.7%	30.7%
田子浦まちづくりセンター	田子浦	1,089.98	15,123	7.207	直営	27.6%	28.2%	35.8%	28.8%
富士南まちづくりセンター	富士南	540.84	16,863	3.207	直営	36.7%	36.5%	34.1%	36.0%
岩松まちづくりセンター	岩松	608.34	9,961	6.107	直営	37.9%	36.1%	33.2%	30.3%
岩松北まちづくりセンター	岩松北	762.66	9,983	7.640	直営	41.4%	37.1%	33.0%	31.7%
富士川まちづくりセンター	富士川	923.44	9,243	9.991	直営	20.3%	22.0%	22.6%	24.6%
松野まちづくりセンター	松野	1,429.96	7,432	19.241	直営	31.1%	33.3%	33.9%	36.5%
鷹岡まちづくりセンター	鷹岡	1,215.98	12,994	9.358	直営	36.3%	35.6%	40.2%	38.7%
天間まちづくりセンター	天間	745.35	6,769	11.011	直営	46.7%	40.4%	46.3%	37.2%
丘まちづくりセンター	丘	895.00	13,012	6.878	直営	41.0%	40.4%	35.9%	34.5%
全体		23,199.32	259,233	8.949	—	33.9%	32.7%	32.4%	31.5%

\*1 コスト等は、今泉まちづくりセンターに含めて評価する。

\*2 貸部屋稼働率=貸部屋合計貸出コマ数/貸部屋合計最大コマ数(午前・午後・夜間で各部屋3コマが最大)

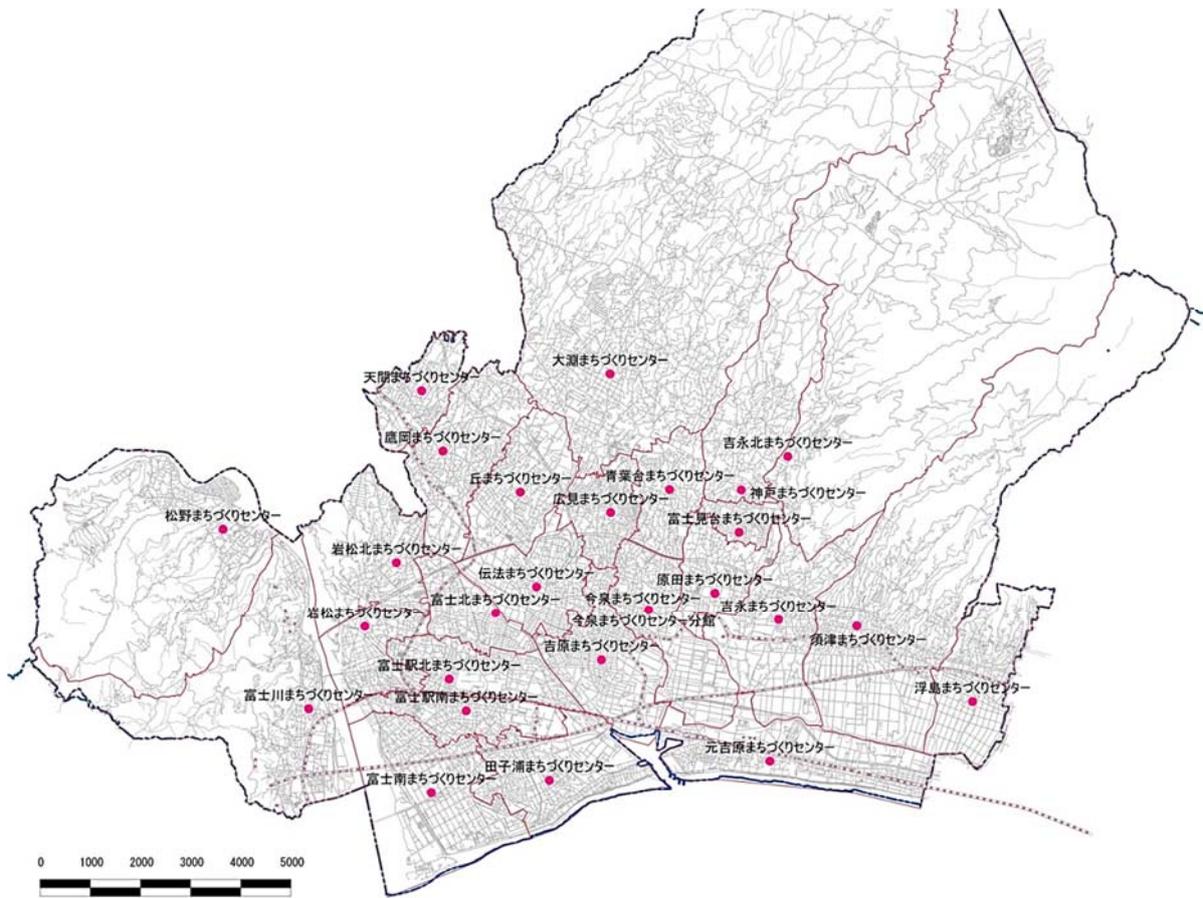


図 4-51. まちづくり施設の配置状況

② 施設管理コストと稼働率の推移

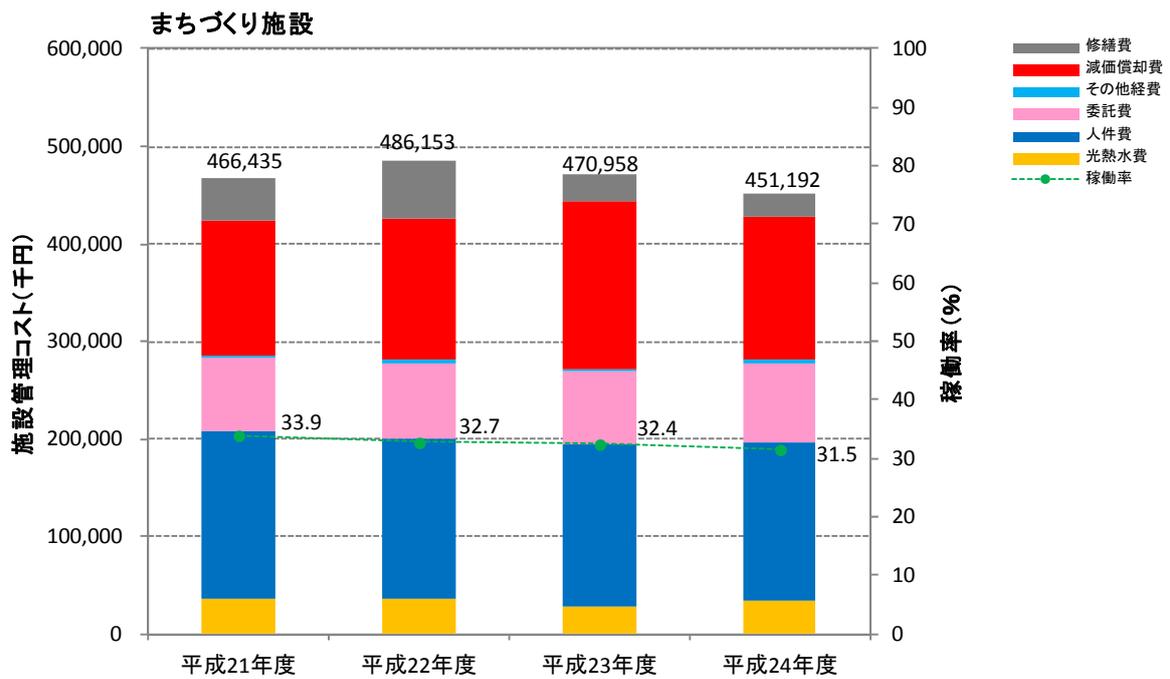


図 4-52. まちづくり施設における施設管理コストの推移

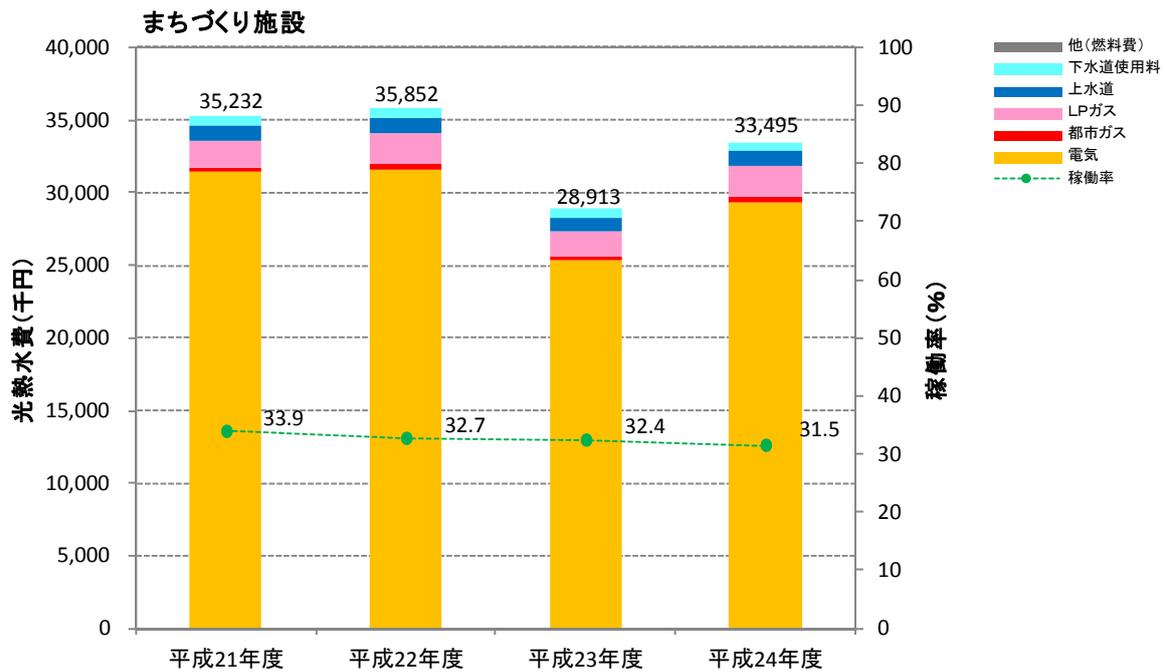


図 4-53. まちづくり施設における光熱水費の推移

③ 施設管理コストの施設間比較

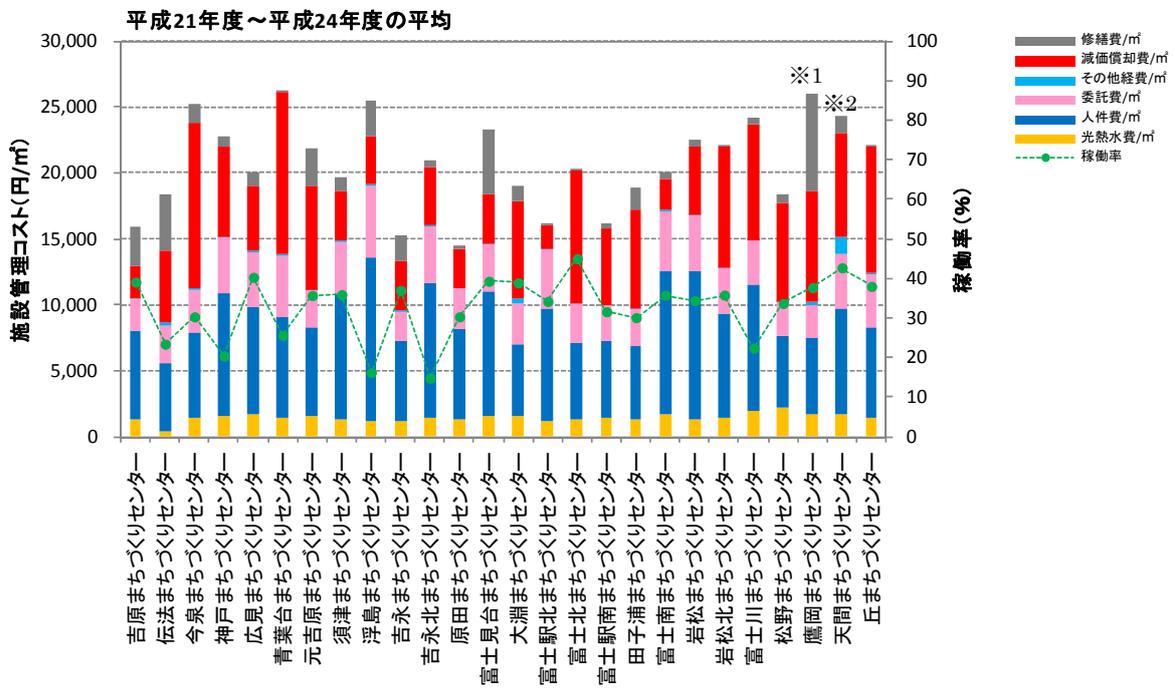


図 4-54. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

※1 鷹岡まちづくりセンターの修繕費は、平成 22 年度センター改築に伴う旧施設の解体工事費。  
 ※2 天間まちづくりセンターのその他経費は借地料。

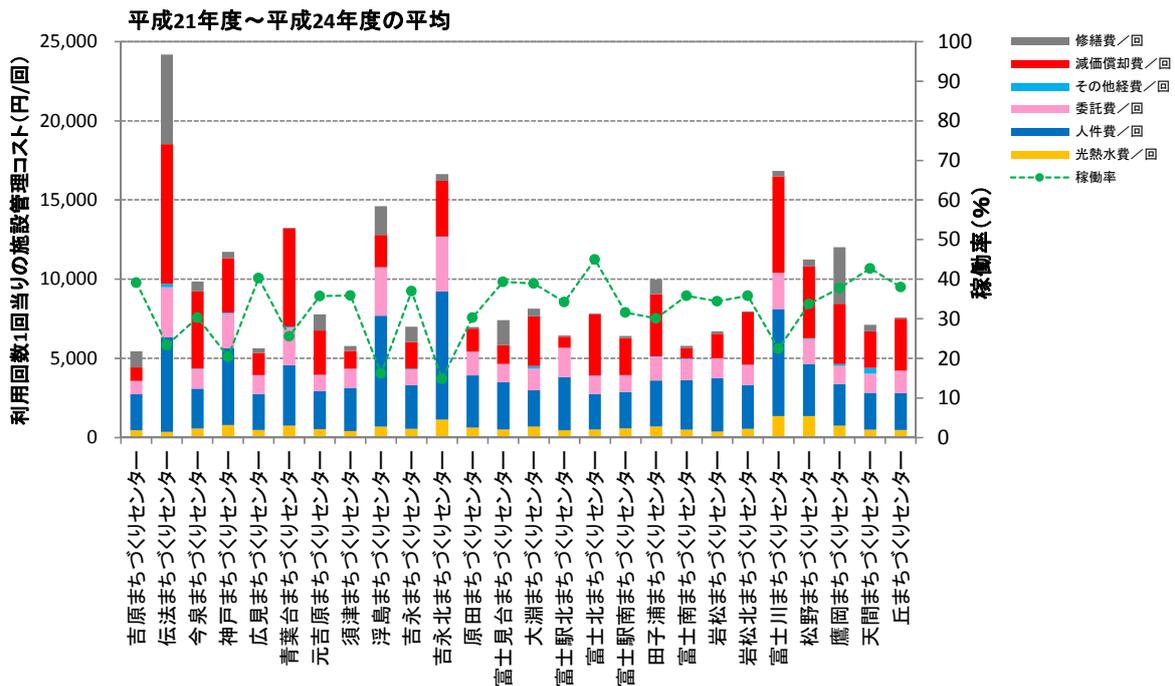


図 4-55. 利用回数 1 回当りの施設管理コスト

※ 利用回数とは、貸部屋稼働率算出用の最大 3 コマ（午前・午後・夜間）に対して、何コマ利用されたかの回数。

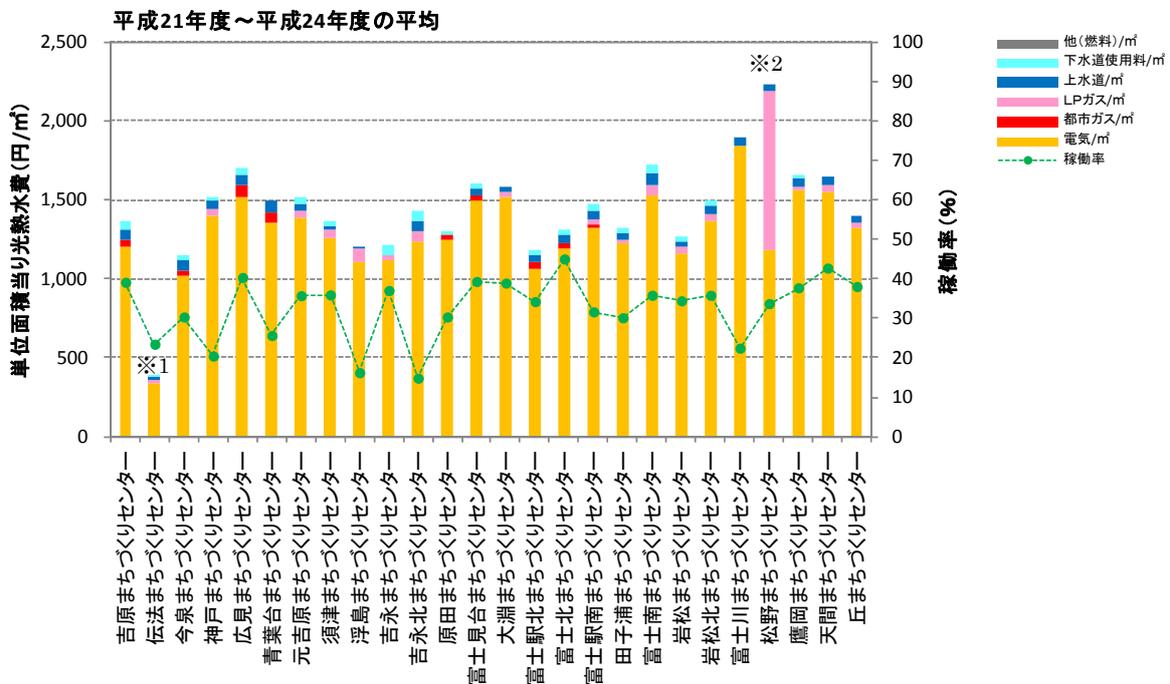


図 4-56. 単位面積当りの光熱水費の施設間比較

- ※1 伝法まちづくりセンターの光熱水費の割合が小さい要因は、平成 23 年度移転改築のために仮施設で運営していたために、光熱水費等が不明のため。
- ※2 松野まちづくりセンターは、冷暖房設備に全館空調のガス吸収式冷温水発生装置を採用しているため、LPガス使用の割合が大きい。

#### ④ ポートフォリオ分析

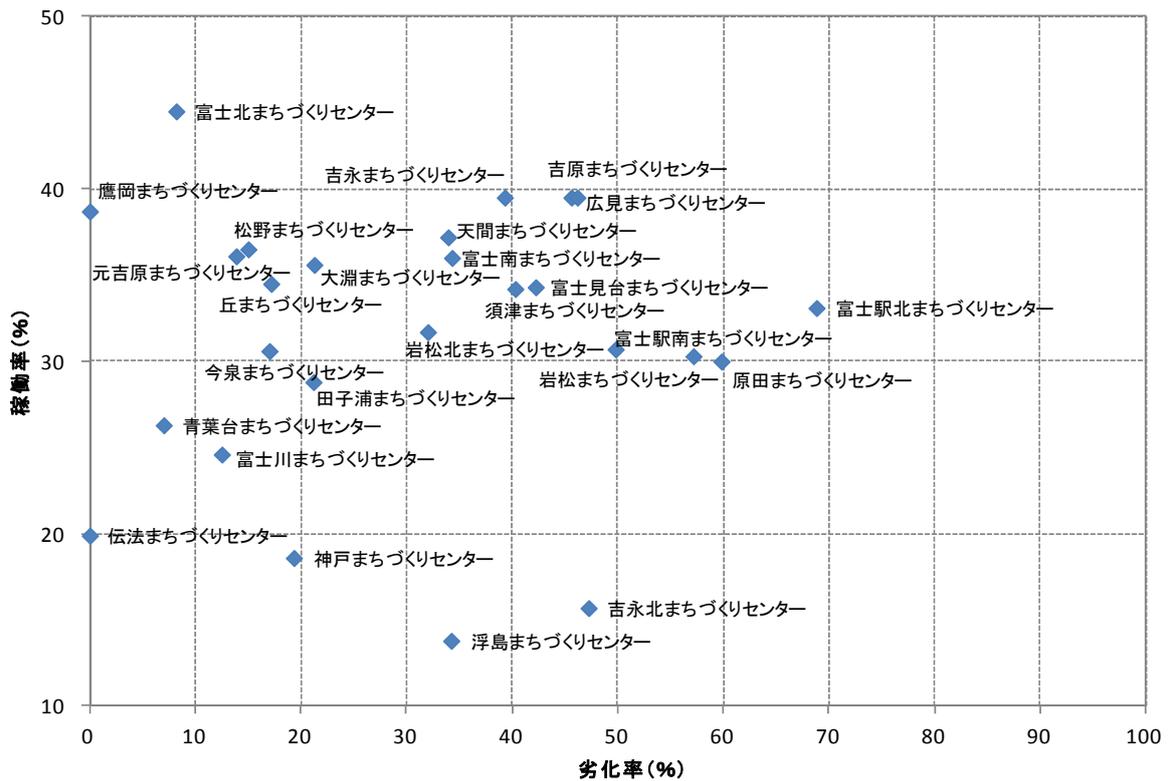


図 4-57. 劣化率と稼働率の関係

#### ⑤ 補足説明

- 1) 施設全体の施設管理コストはやや減少傾向にあるが、施設間の比較ではバラツキが確認できる。
- 2) 貸部屋の稼働率は施設間でバラツキが確認できる。
- 3) 地区別に見ると、人口 100 人当りの床面積に差があるので、スペースの有効活用という観点から、多機能化の推進も考えられる。
- 4) 現在、富士駅北まちづくりセンターを建設中である。
- 5) 規模、設備、機能について地区ごとに違いがあるため、統一的な基準について検討する必要がある。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

伝法まちづくりセンター	平成 22 年度（2010 年度）	旧館解体
	平成 24 年度（2014 年度）	改築
今泉まちづくりセンター分館	平成 23 年度（2011 年度）	耐震補強
青葉台まちづくりセンター	平成 12 年度（2000 年度）	新築
元吉原まちづくりセンター	平成 20 年度（2008 年度）	多目的ホール増築
大淵まちづくりセンター	平成 19 年度（2007 年度）	増築（中央図書館大淵分室併設）
富士北まちづくりセンター	平成 13 年度（2001 年度）	新築
田子浦まちづくりセンター	平成 14 年度（2002 年度）	増改築（中央図書館田子浦分室併設）
岩松まちづくりセンター	平成 19 年度（2007 年度）	倉庫・駐輪場新築
富士川まちづくりセンター	平成 20 年度（2008 年度）	旧富士川町議場棟を改修
松野まちづくりセンター	平成 20 年度（2008 年度）	旧富士川町サンクレアを改修
	平成 24 年度（2012 年度）	調理室設置
鷹岡まちづくりセンター	平成 22 年度（2010 年度）	移転改築・旧建物解体
天間まちづくりセンター	平成 14 年度（2002 年度）	多目的ホール増築
丘まちづくりセンター	平成 14 年度（2002 年度）	増改築

★今後実施予定・計画中の工事等

富士駅北まちづくりセンター	平成 26 年度（2014 年度）	移転改築予定
富士川まちづくりセンター	平成 26 年度（2014 年度）	富士川保健センターが、所管替えにより富士川まちづくりセンター分館になる
富士駅南まちづくりセンター	平成 27 年度（2015 年度）	旧館部分のみ改築予定
富士南まちづくりセンター	平成 30 年度（2018 年度）	移転改築予定
岩松まちづくりセンター	平成 32 年度（2020 年度）	改築予定

## (10) 市民交流施設

市民交流施設は、コミュニティ活動や地域の文化活動等の場を提供することにより市民の交流を促進することを目的として配置されている。

### ① 施設基本情報と配置

表 4-13. 市民交流施設における基本情報及び利用状況

施設名	地区	延床面積 (㎡)	運営	指標	利用状況			
					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
富士市国際交流ラウンジ (富士市交流センター)	富士駅北	153.02	直営	利用者数(人/日)	21.8	20.4	19.8	23.3
富士市交流センター	富士駅北	4,472.71	指定管理者	稼働率*1	31.7%	37.0%	38.2%	43.1%
富士市富士川ふれあいホール	富士川	2,962.79	指定管理者	稼働率	14.4%	18.9%	23.4%	24.7%

※ カッコ内は併設する主たる施設名

\*1 稼働率=各部屋合計貸出時間/各部屋合計最大貸出時間



図 4-58. 市民交流施設の配置状況

② 施設管理コストの推移

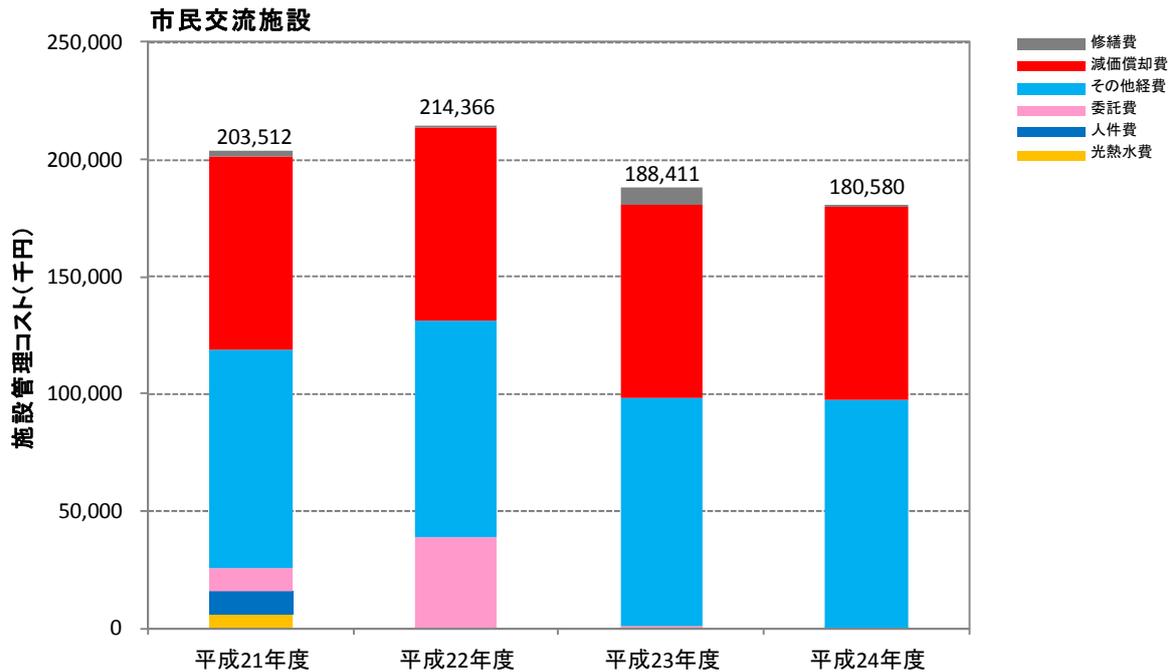


図 4-59. 市民交流施設における施設管理コストの推移

※ 富士川ふれあいホールは平成 21 年度直営、平成 22 年度委託、平成 23 年度以降指定管理者。平成 21 年度は直営であったため高熱水費・人件費の計上がある。また、平成 22 年度は委託施設であったため、委託費がある。その後平成 23 年度以降は、指定管理施設となったため、その他経費（指定管理料）計上のみとなった。

③ 施設管理コストの施設間比較

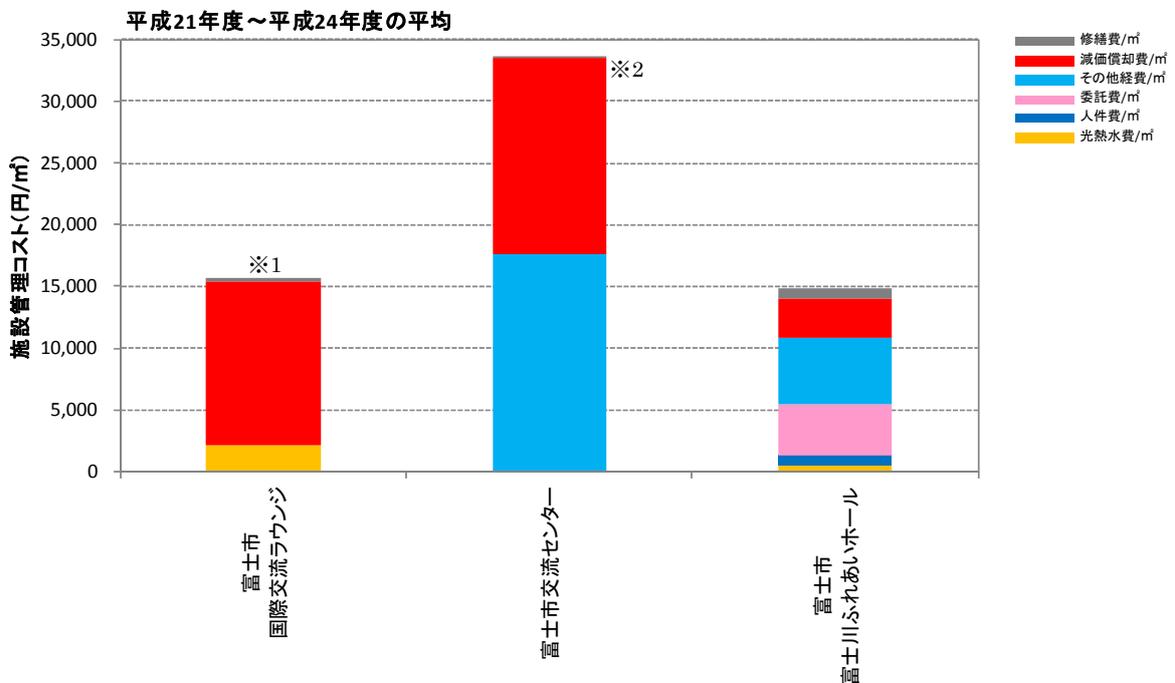


図 4-60. 単位面積当たり施設管理コストの施設間比較

※1 国際交流ラウンジは直営ではあるが、実質的な施設管理コストは高熱水費のみ。

※2 交流センターのその他経費は指定管理料。

④ ポートフォリオ分析

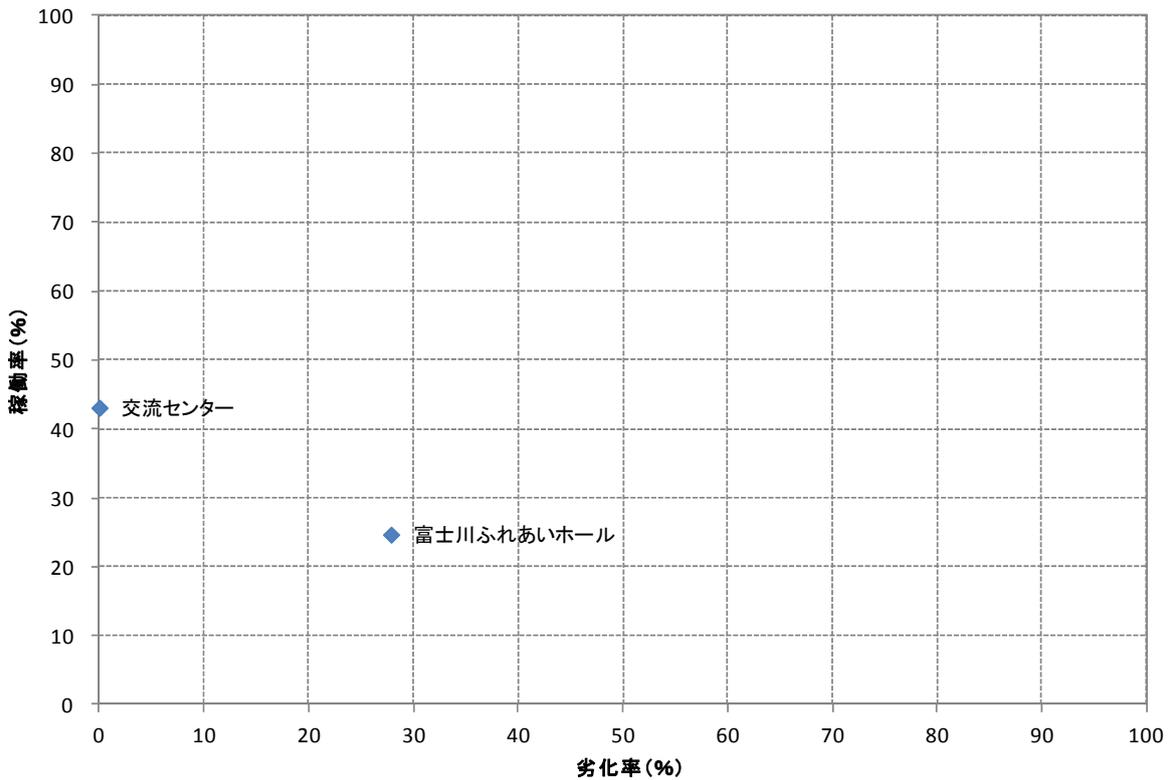


図 4-61. 劣化率と稼働率の関係

⑤ 補足説明

- 1) 富士市国際交流ラウンジを除き運営は指定管理者のため、施設管理コストの内訳は、減価償却費と指定管理料が大部分を占める。
- 2) 施設管理コストは減少傾向にあるが、利用状況は高くはないので、有効活用を考える必要がある。
- 3) 富士川ふれあいホールは老朽化が進んでおり、市民交流施設全体の稼働率を考慮すると、将来的には機能統合や再編等も検討をする必要がある。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

富士市交流センター	平成 19 年度 (2007 年度)	旧市民センター跡地へ交流プラザ*新築
		※交流プラザは、「富士市交流センター」と「西図書館」ならびに「国際交流ラウンジ」の 3 施設で構成される建物
富士川ふれあいホール	平成 19 年度 (2007 年度)	外壁塗装
	平成 20 年度 (2008 年度)	舞台照明卓改修

★今後実施予定・計画中の工事等

富士川ふれあいホール	平成 26 年度 (2014 年度)	冷暖房設備全面更新予定
------------	--------------------	-------------

(11) 庁舎・事務所

庁舎・事務所として、富士市役所、事務所は埋蔵文化財調査室、新富士駅南整備課事務所、富士市高齢者就業センター、富士市男女共同参画センターを対象とする。

① 施設基本情報と配置

表 4-14. 庁舎・事務所における基本情報

施設名	地区	運営	延床面積(m <sup>2</sup> )
富士市役所	吉原	直営	26,653.09
埋蔵文化財調査室	広見	直営	388.21
新富士駅南整備課事務所	田子浦	直営	287.49
富士市高齢者就業センター	吉原	直営	986.75
富士市男女共同参画センター <sup>*1</sup>	富士駅北	直営	262.00

<sup>\*1</sup> コスト等は併設する主たる施設(富士市保健センター)において評価する



図 4-62. 庁舎・事務所の配置状況

② 施設管理コストの推移

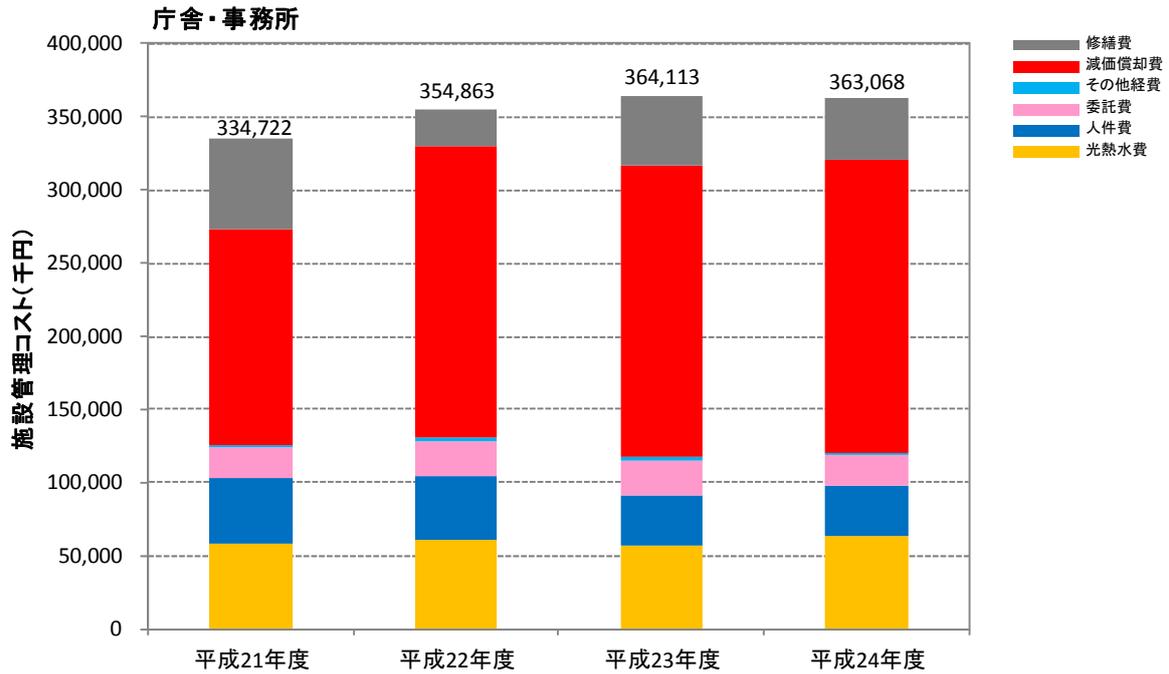


図 4-63. 庁舎・事務所における施設管理コストの推移

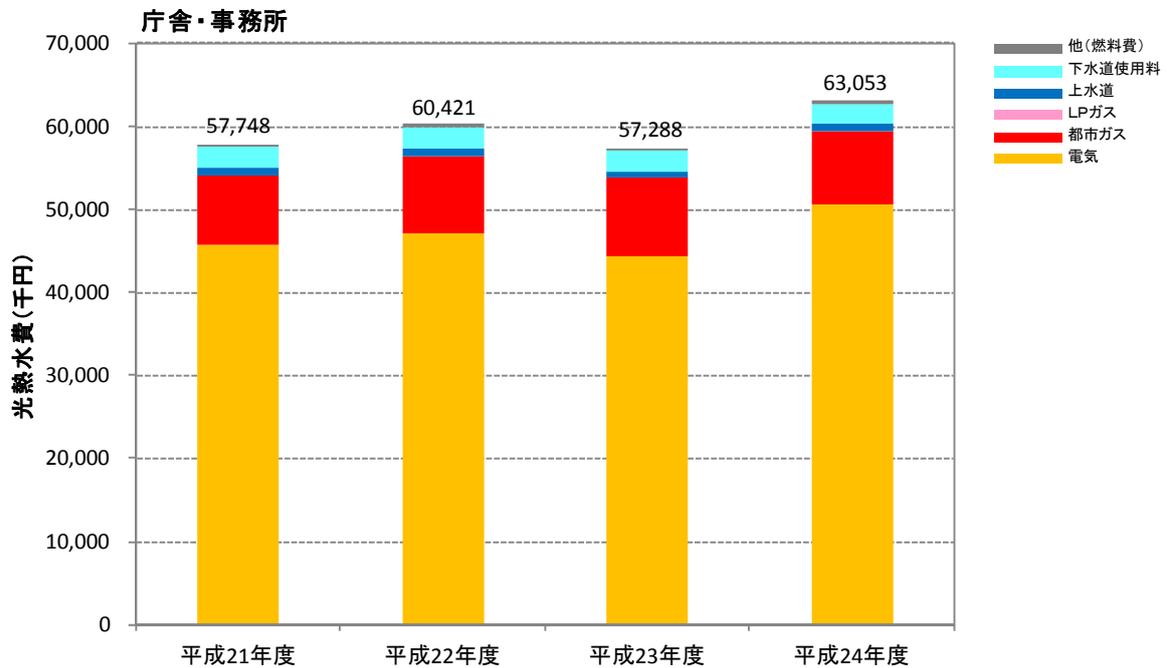


図 4-64. 庁舎・事務所における光熱水費の推移

③ 施設管理コストの施設間比較

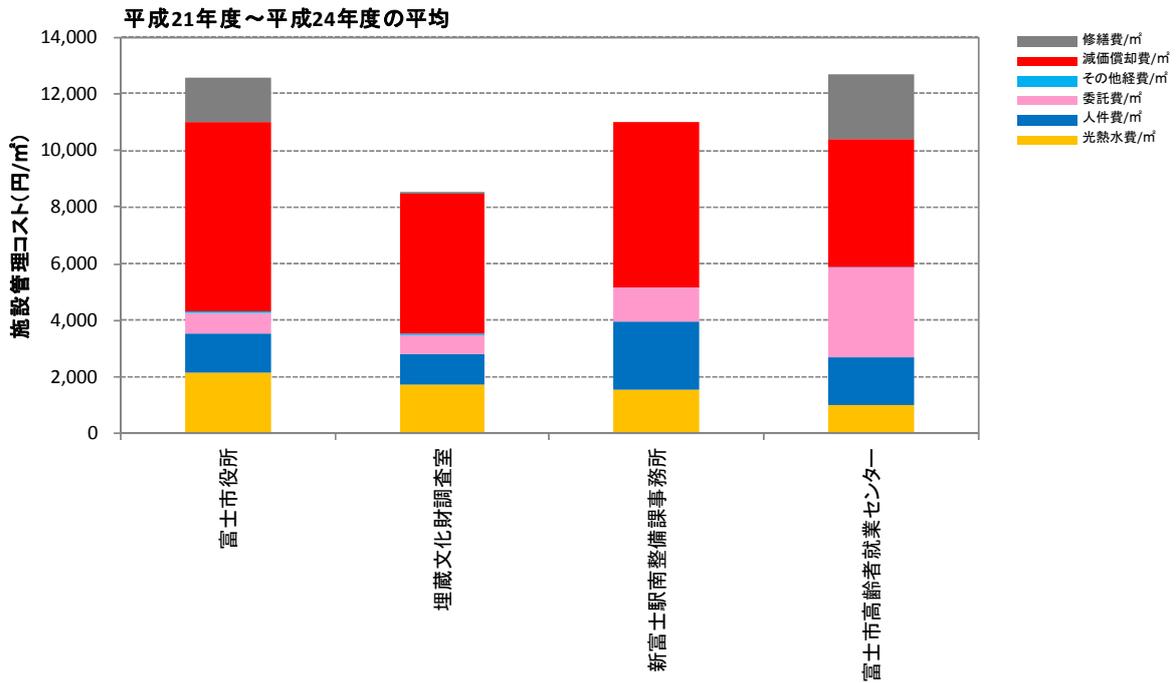


図 4-65. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

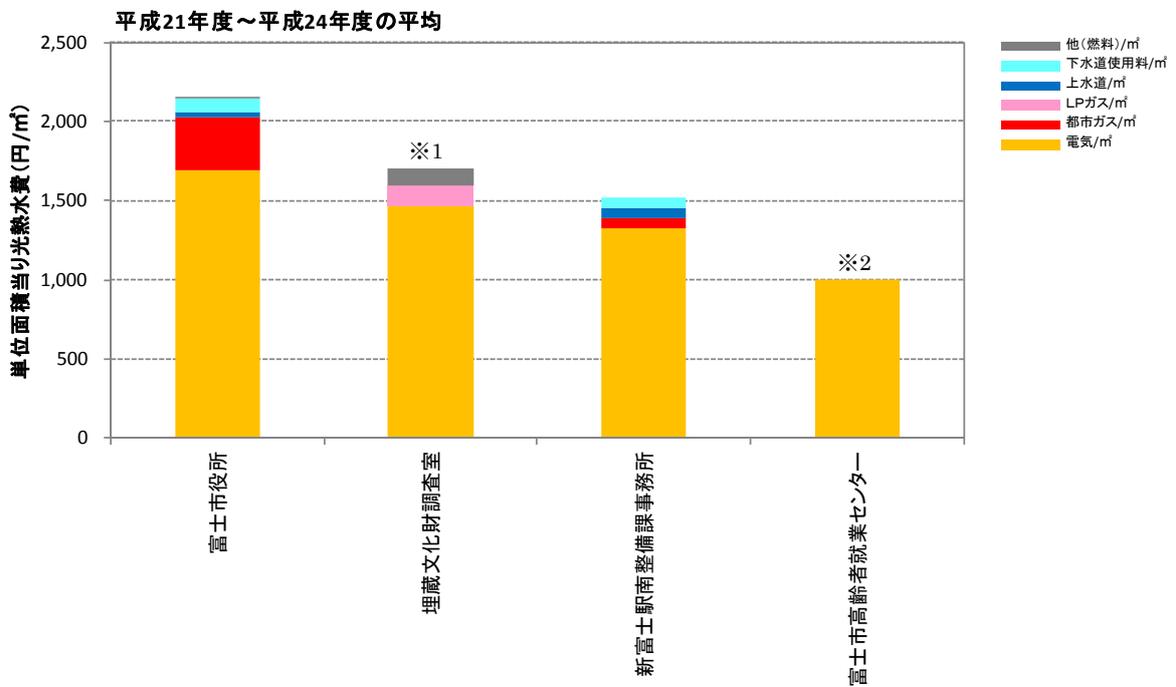


図 4-66. 単位面積当りの光熱水費の施設間比較

※1 埋蔵文化財調査室の上下水道料は広見公園全体の支払いによるため算出不可。

※2 富士市高齢者就業センターの上下水道料は運営主体のシルバー人材センターが負担している。

#### ④ 劣化率

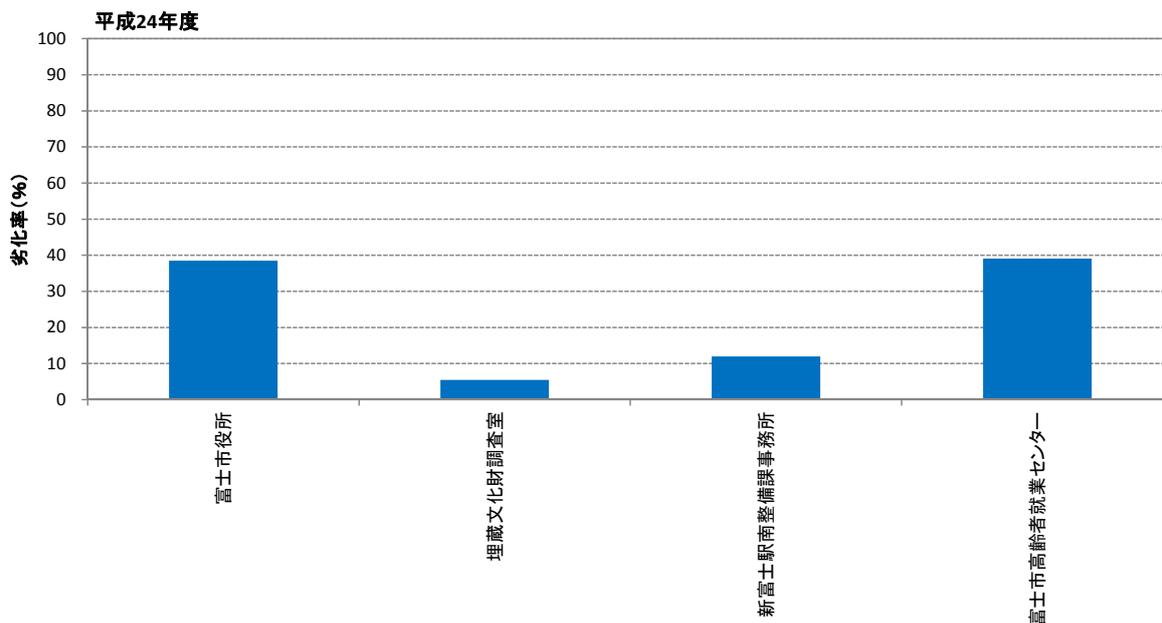


図 4-67. 庁舎・事務所における劣化率

#### ⑤ 補足説明

- 1) 施設管理コストの内訳の中で減価償却費の次に光熱水費の比率が高い。その光熱水費は東日本大震災のあった平成 23 年度を除き、増加傾向にある。ただし、使用量はやや減少傾向にある。
- 2) 市役所本庁舎は平成 20～21 年度に大規模な耐震工事を行った。
- 3) 市役所の劣化率は、本庁舎と消防防災庁舎を併せたものであり、本庁舎のみを捉えると劣化が進んでいる状況といえる。

#### ⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

##### ★新築・改築・増築・改修等実施状況

富士市役所	平成 12 年度 (2000 年度)	消防庁舎改築
	平成 21 年度 (2009 年度)	庁舎耐震補強
埋蔵文化財調査室	平成 16 年度 (2004 年度)	旧神戸公民館より広見公園内に移転改築
新富士駅南整備課事務所	平成 12 年度 (2000 年度)	新築

## (12) 消防施設

消防施設には、各地域に配置された消防署及びその分署並びに地域の安心安全を守るために火災等の災害活動等に従事する消防団の詰所がある。

### <消防署分署>

#### ① 施設基本情報

表 4-15. 消防署分署における基本情報

施設名	地区	運営	延床面積 (㎡)
中央消防署(富士市役所)	吉原	直営	3141.30
中央消防署臨港分署	元吉原	直営	484.96
中央消防署吉永分署	吉永	直営	414.15
中央消防署富士見台分署	富士見台	直営	393.74
中央消防署大淵分署	大淵	直営	413.88
西消防署	富士北	直営	832.87
西消防署鷹岡分署	鷹岡	直営	538.66
西消防署南分署	富士駅南	直営	366.50
西消防署富士川分署	富士川	直営	644.81

※ カッコ内は併設する主たる施設名

#### ② 施設管理コストの推移

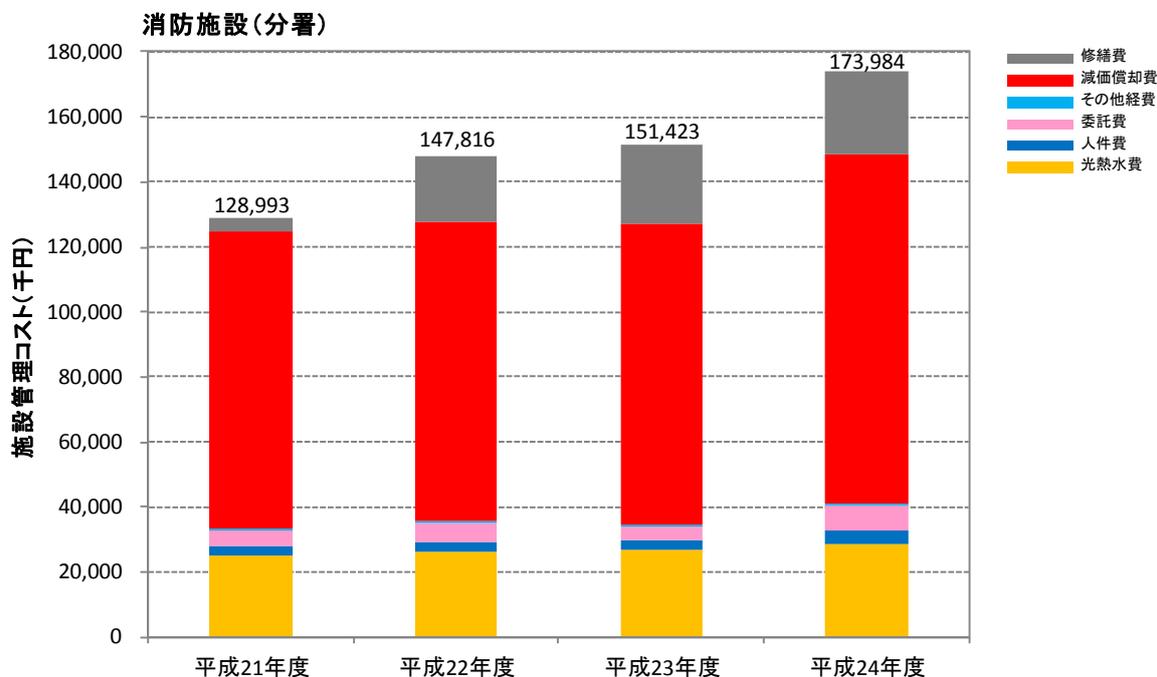


図 4-68. 消防施設(分署)における施設管理コストの推移

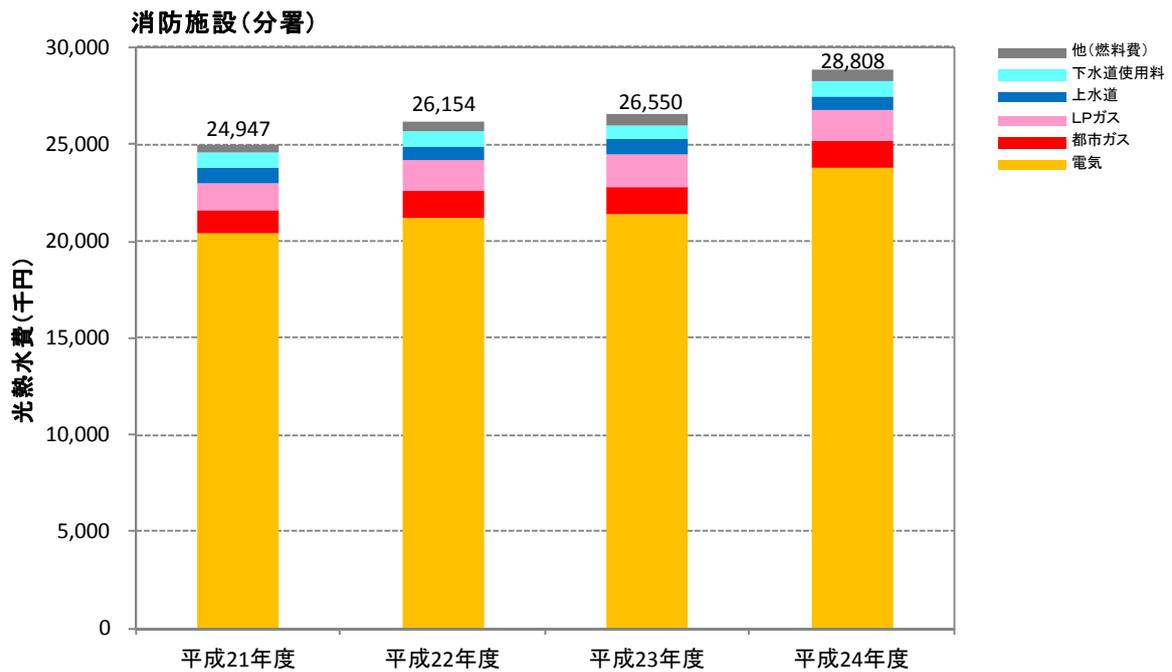


図 4-69. 消防施設(分署)における光熱水費の推移

### ③ 施設管理コストの施設間比較

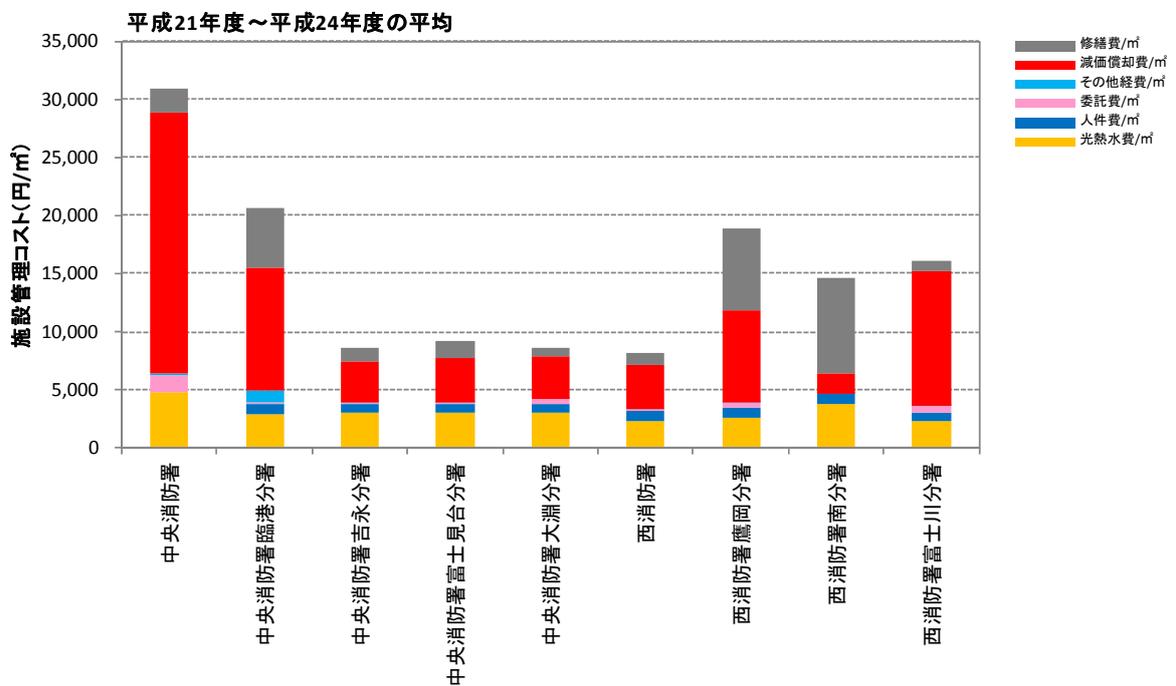


図 4-70. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

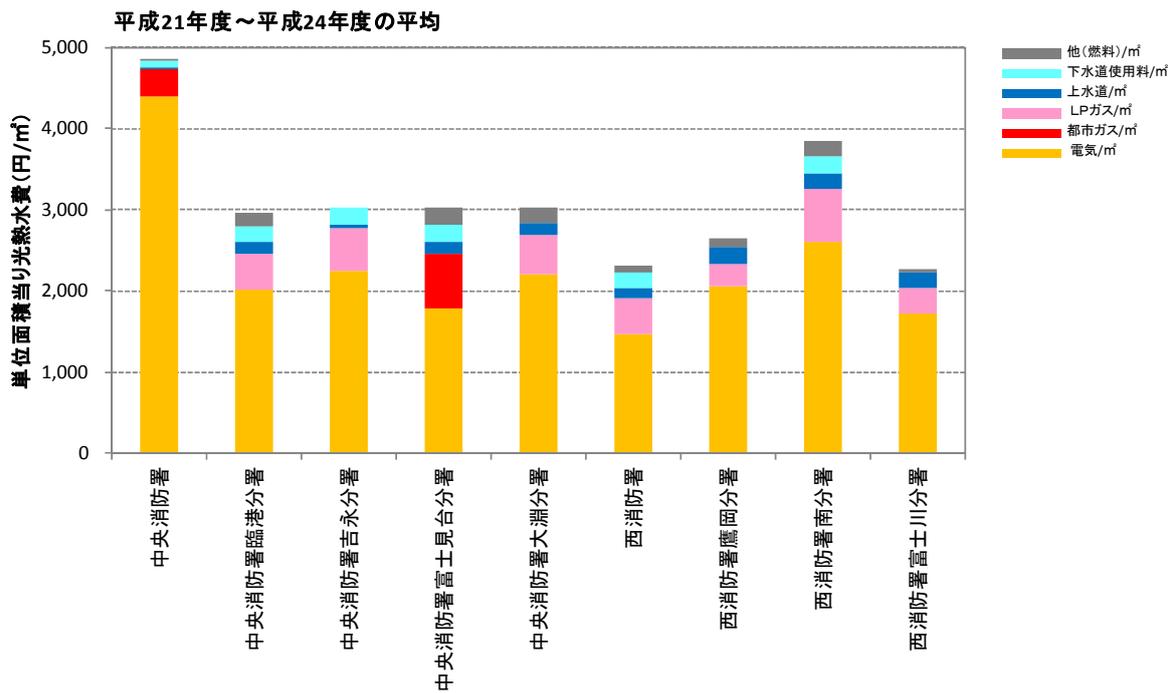


図 4-71. 単位面積当りの光熱水費の施設間比較

④ 劣化率

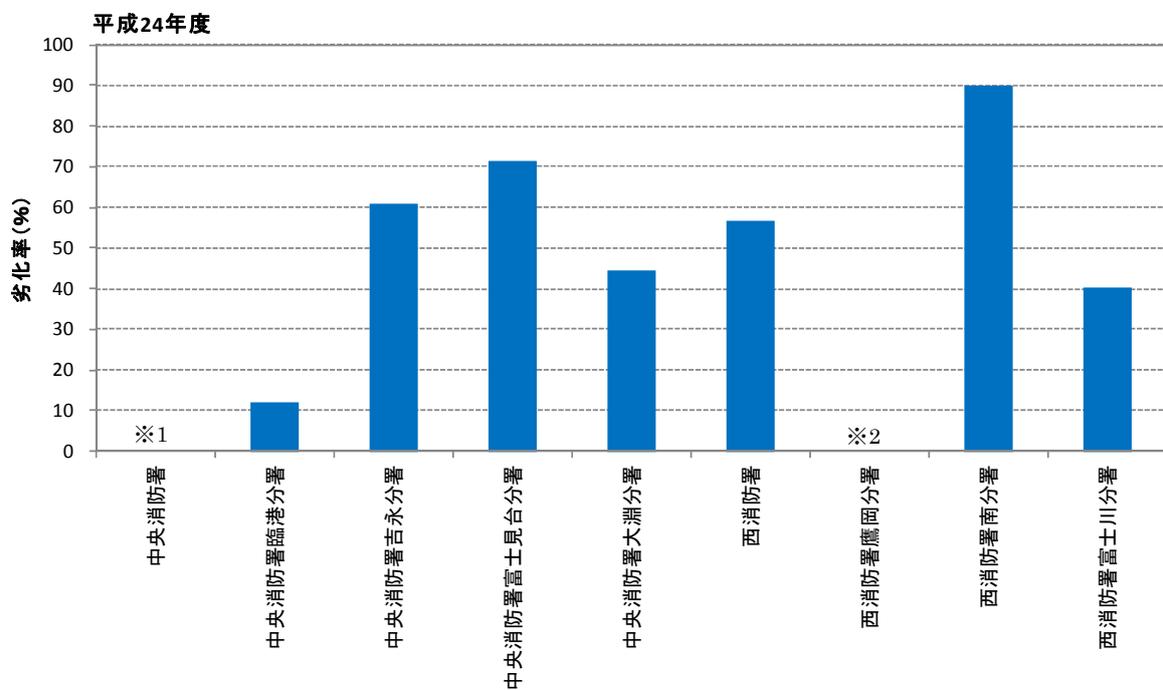


図 4-72. 消防施設（分署）における劣化率

※1 中央消防署の劣化率が0である要因は、主施設の棟（富士市役所 消防防災庁舎）の劣化率が0であるため。

※2 西消防署鷹岡分署の劣化率が0である要因は、平成 23 年度に改築したため。

⑤ 補足説明

1) 施設管理コストは増加傾向にある。光熱水費も同様となっている。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

中央消防署	平成 12 年度（2000 年度）	消防庁舎改築
中央消防署臨港分署	平成 16 年度（2004 年度）	移転改築
	平成 22 年度（2010 年度）	救急洗浄室増築・仮眠室改修
中央消防署吉永分署	平成 19 年度（2007 年度）	救急洗浄室増築
中央消防署富士見台分署	平成 21 年度（2009 年度）	救急洗浄室増築
中央消防署大淵分署	平成 20 年度（2008 年度）	救急洗浄室増築
富士市西消防署	平成 13 年度（2001.年度）	救急洗浄室増築
	平成 19 年度（2007 年度）	耐震補強
西消防署鷹岡分署	平成 23 年度（2011 年度）	移転改築
	平成 24 年度（2012 年度）	旧分署解体
西消防署南分署	平成 24 年度（2012 年度）	耐震補強



<分団>

① 施設基本情報と配置

表 4-16. 分団における基本情報

施設名	地区	運営	延床面積 (m <sup>2</sup> )
第1分団	吉原	直営	116.00
第2分団	吉原	直営	116.00
第3分団(伝法)	伝法	直営	163.44
第3分団(日吉)	吉原	直営	80.82
第4分団	今泉	直営	117.45
第5分団	今泉	直営	80.82
第6分団	神戸	直営	117.24
第7分団	原田	直営	116.00
第8分団	吉永	直営	185.45
第9分団(中里)	須津	直営	117.00
第9分団江尾車庫	須津	直営	57.50
第10分団(今井)	元吉原	直営	117.24
第10分団車庫	元吉原	直営	37.72
第11分団	吉永北	直営	117.52
第12分団	大淵	直営	116.00
第13分団	富士駅北	直営	140.18
第14分団	富士駅北	直営	116.00
第15分団	富士北	直営	117.62
第16分団	富士駅南	直営	113.40
第17分団	田子浦	直営	116.00
第18分団	田子浦	直営	149.85
第19分団	岩松	直営	116.00
第20分団	岩松北	直営	116.00
第21分団	鷹岡	直営	116.00
第22分団	丘	直営	117.24
第23分団	鷹岡	直営	117.52
第24分団	天間	直営	116.00
第25分団	広見	直営	116.00
第26分団	富士南	直営	116.00
第27分団	富士川	直営	88.00
第28分団	富士川	直営	82.81
第29分団	富士川	直営	81.66
第30分団	松野	直営	81.45
第31分団	松野	直営	89.10

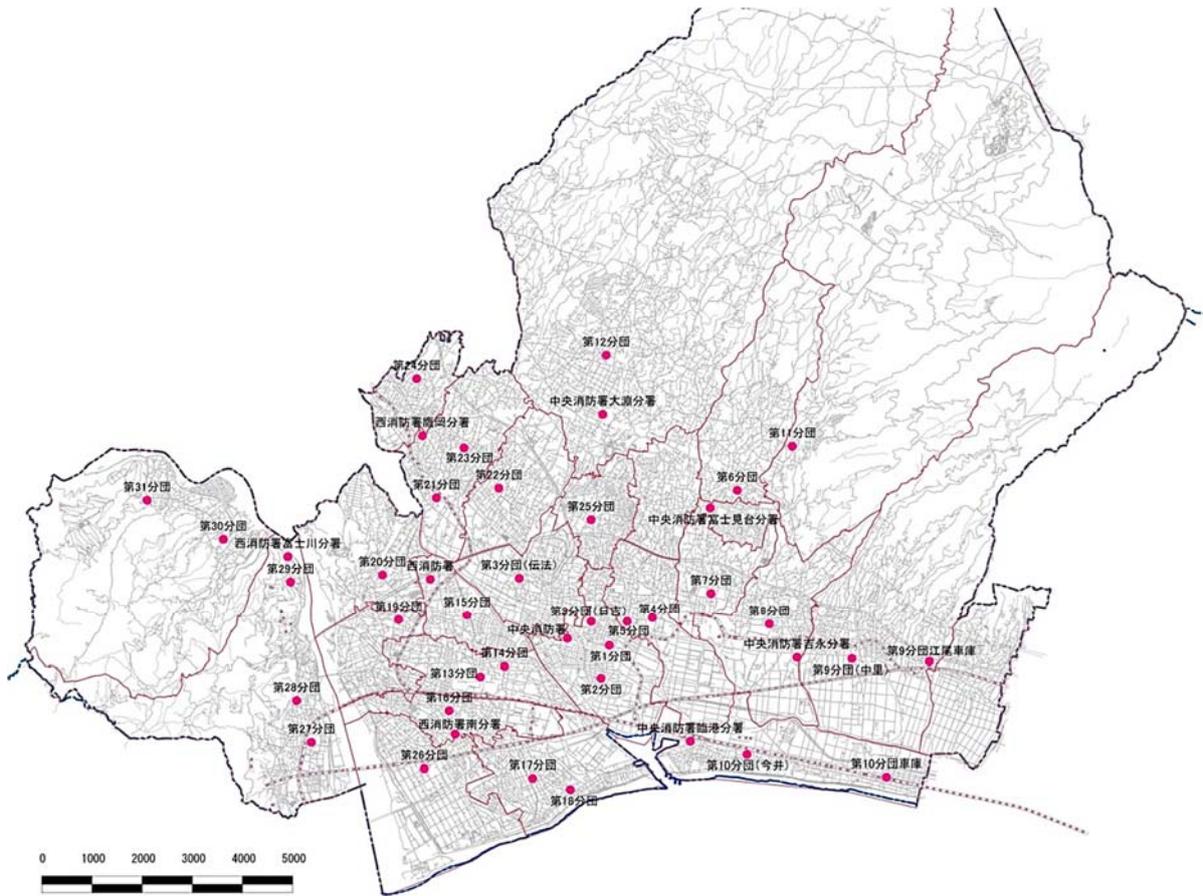


図 4-73. 消防施設の配置状況

② 施設管理コストの推移

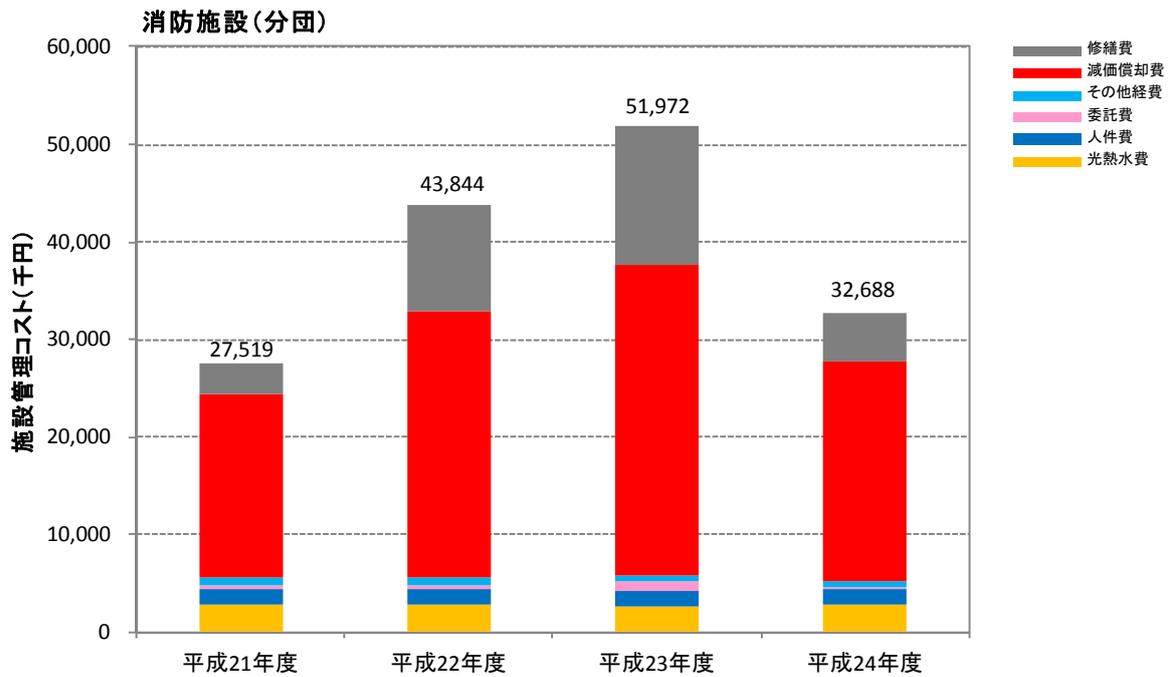


図 4-74. 消防施設(分団)における施設管理コストの推移

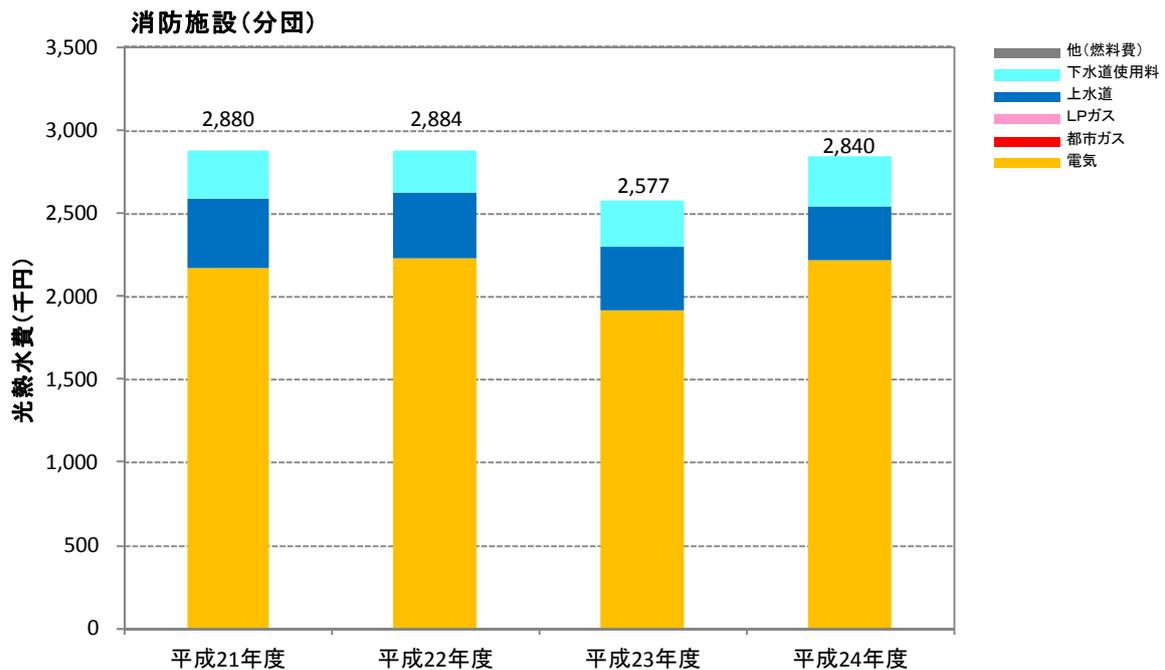


図 4-75. 消防施設(分団)における光熱水費の推移

③ 施設管理コストの施設間比較

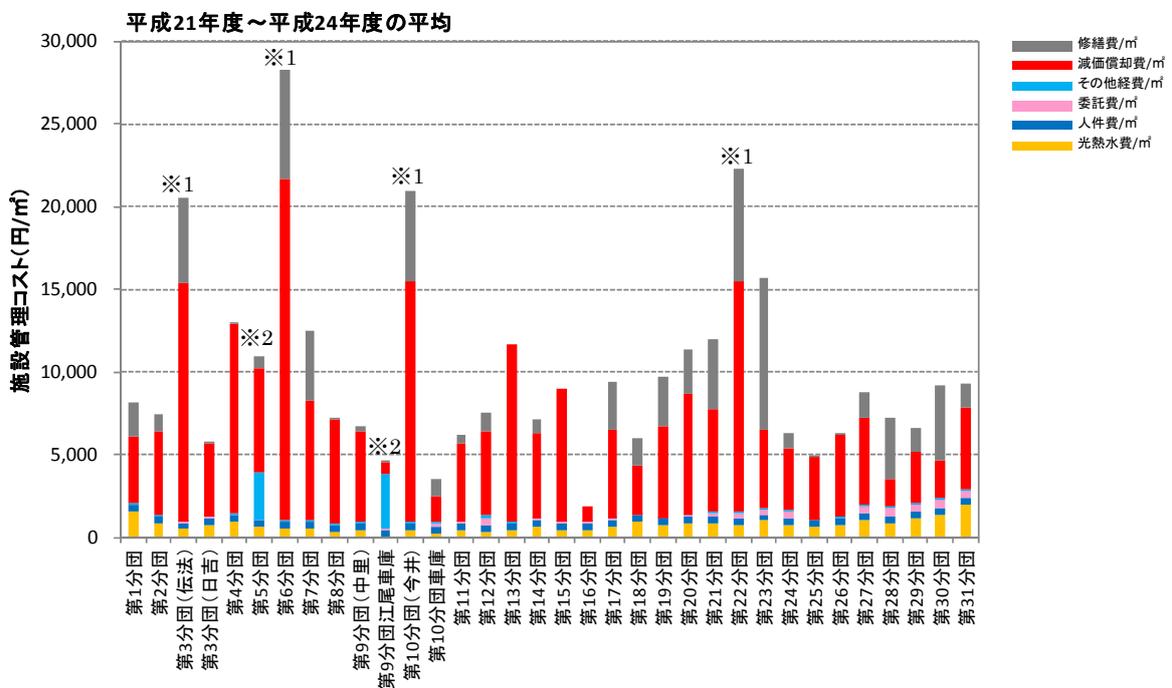


図 4-76. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

- ※1 第3分団(伝法)・第6分団・第10分団(今井)・第22分団の修繕費及び減価償却費の割合が大きい要因は、それぞれ改築による既設解体工事費と既設減価償却の未償却費による。
- ※2 第5分団・第9分団江尾車庫のその他経費は借地料。

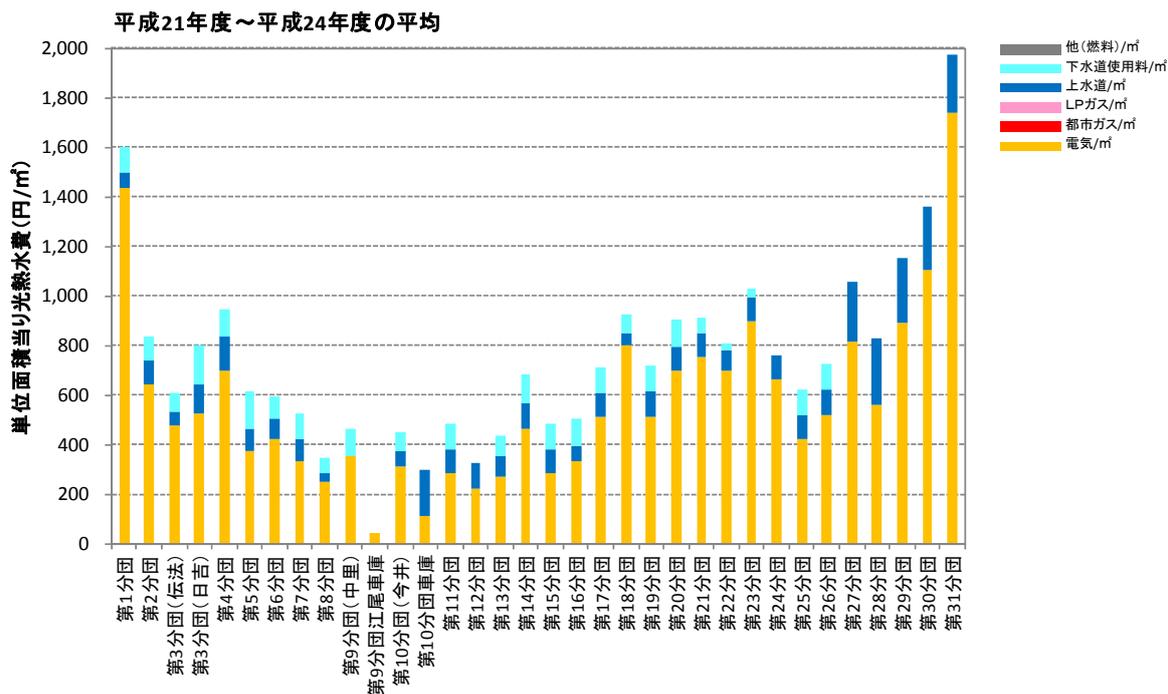


図 4-77. 単位面積当りの光熱水費の施設間比較

④ 劣化率

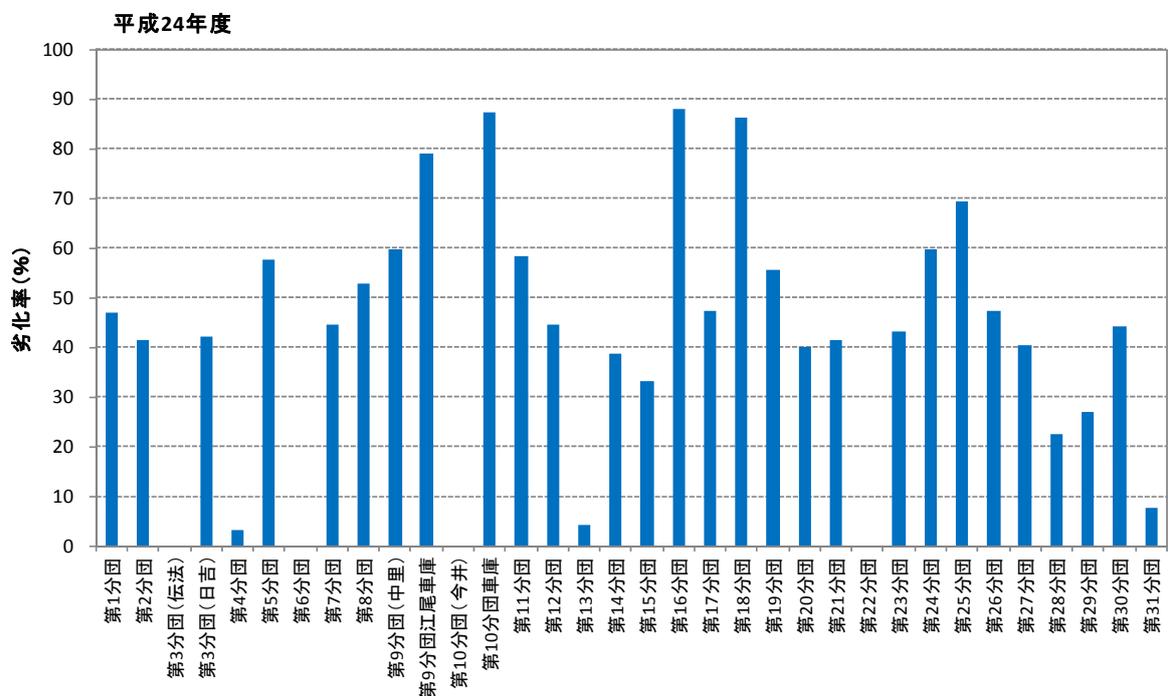


図 4-78. 消防施設(分団)における劣化率

⑤ 補足説明

- 1) 施設機能の性格上、施設管理コストの総量は小さいが、棟数は多いので効率的な維持保全が必要である。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

第3分団（伝法）	平成22年度（2010年度）	移転改築・旧詰所解体
第4分団	平成18年度（2006年度）	改築・旧詰所解体
第6分団	平成23年度（2011年度）	改築・旧詰所解体
第10分団（今井）	平成22年度（2010年度）	改築・旧詰所解体
第11分団	平成12年度（2000年度）	公共下水道接続
第13分団	平成16年度（2004年度）	改築・旧詰所解体
第16分団	平成25年度（2013年度）	移転改築
第21分団	平成22年度（2010年度）	公共下水道接続
第22分団	平成23年度（2011年度）	改築・旧詰所解体
第23分団	平成23年度（2011年度）	公共下水道接続

### (13) 保育園

保育園は、児童福祉法第39条の規定に基づき、保育に欠ける子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とした児童福祉施設である。市内には、市立保育園が19施設、私立保育園が15施設及び認定こども園が3施設あり、公立と私立の施設数は、ほぼ同数である。認定こども園とは、保育所と幼稚園の両方の機能を併せ持った施設で、親の就労の有無にかかわらず、一つの施設で様々な子育て家庭の要望に応えることが可能な施設である。

※私立保育園及び認定こども園の施設数は平成25年4月時点の情報。

#### ① 施設基本情報と配置

表 4-17. 保育園における基本情報及び利用率

施設名	地区	延床面積(m <sup>2</sup> )	運営	平成24年度定員(人)								利用率*1			
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
第一保育園	吉原	1,016.54	直営	9	12	19	20	30	30	120	108.3%	107.5%	107.5%	108.3%	
第二保育園	今泉	759.14	直営	3	6	8	20	25	28	90	103.3%	105.6%	97.8%	98.9%	
第三保育園	原田	727.09	直営	3	10	12	15	15	15	70	115.7%	120.0%	120.0%	118.6%	
柏原保育園	元吉原	557.18	直営	3	6	6	15	15	15	60	115.0%	116.7%	116.7%	116.7%	
杉の木保育園	伝法	880.45	直営	9	12	19	20	30	30	120	88.3%	92.5%	91.7%	90.0%	
広見保育園	広見	944.86	直営	6	12	12	30	30	30	120	105.0%	106.7%	107.5%	101.7%	
中野保育園	大淵	550.26	直営	3	8	12	15	16	16	70	114.3%	110.0%	107.1%	108.6%	
蓼原保育園	富士駅北	747.86	直営	6	12	17	21	22	22	100	109.0%	106.0%	105.0%	109.0%	
南保育園	富士駅南	846.97	直営	5	10	11	40	32	32	130	108.5%	102.3%	104.6%	101.5%	
浜保育園	田子浦	528.77	直営	6	10	12	20	21	21	90	97.8%	91.1%	92.2%	93.3%	
なかじま保育園	富士北	984.50	直営	8	14	18	30	25	25	120	102.5%	108.3%	107.5%	105.0%	
岩本保育園	岩松北	1,138.35	直営	6	10	12	20	21	21	90	105.0%	87.8%	91.1%	90.0%	
森島保育園	富士南	584.40	直営	5	5	6	16	24	24	80	107.5%	118.8%	110.0%	111.3%	
鷹岡保育園	鷹岡	804.56	直営	6	6	6	20	26	26	90	97.8%	98.9%	92.2%	94.4%	
厚原保育園	丘	891.20	直営	6	20	24	30	30	30	140	98.6%	101.4%	101.4%	99.3%	
浅間保育園	鷹岡	666.09	直営	6	6	6	20	26	26	90	84.4%	91.1%	88.9%	92.2%	
てんま保育園	天間	549.60	直営	3	3	6	18	15	15	60	100.0%	98.3%	96.7%	95.0%	
松千代保育園	松野	880.99	直営	9	9	12	20	20	20	90	93.3%	85.6%	85.6%	85.6%	
岩淵保育園	富士川	528.67	直営	3	6	9	12	15	15	60	105.0%	108.3%	108.3%	115.0%	
全体		14,587.48	—	105	177	227	402	438	441	1,790	102.5%	102.4%	101.3%	101.1%	

\*1 利用率=児童数/定員

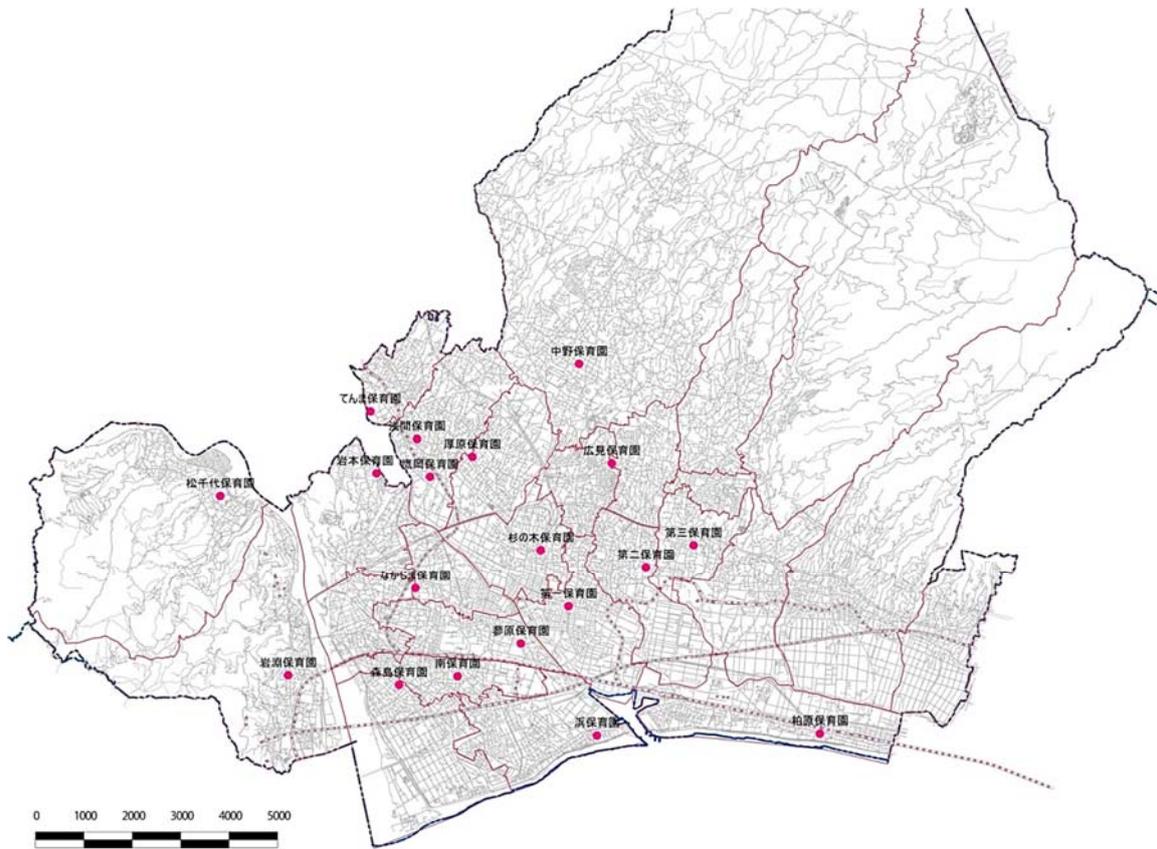


図 4-79. 市立保育園の配置状況

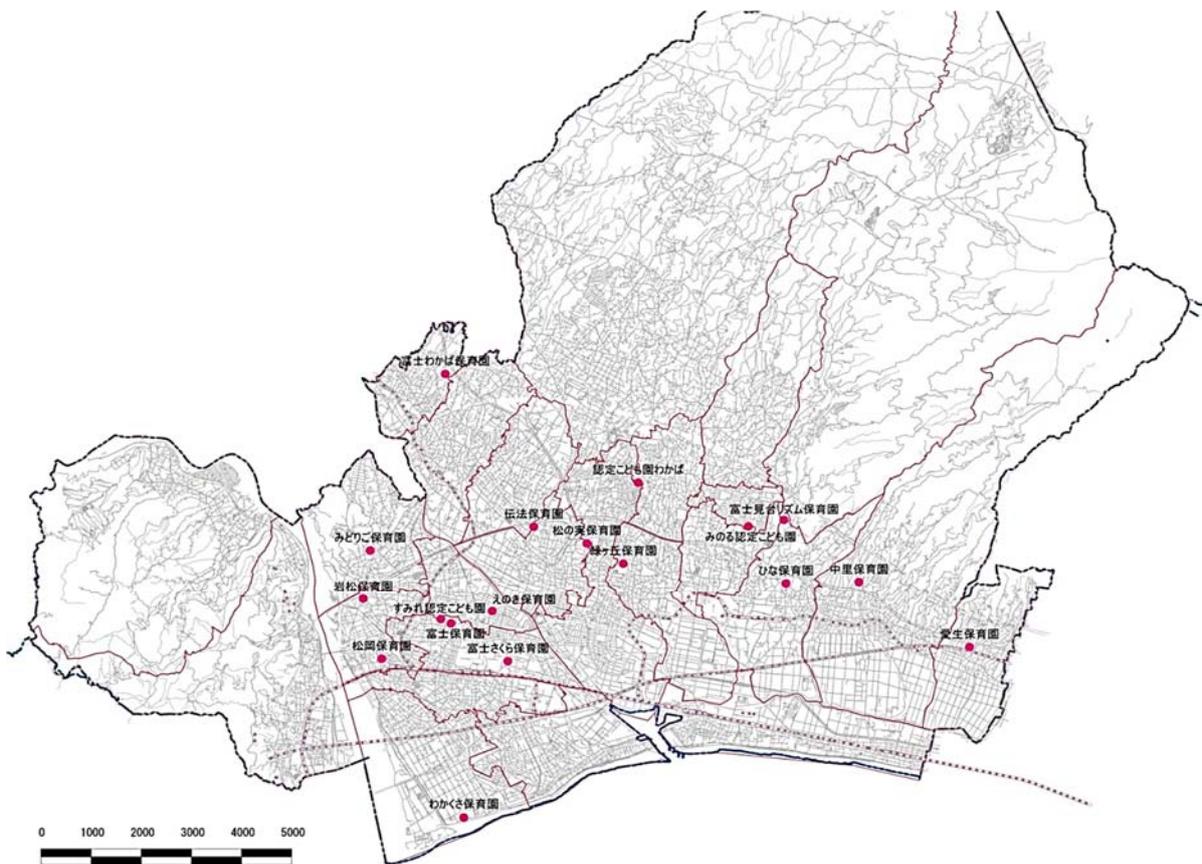


図 4-80. 私立保育園の配置状況

② 施設管理コストと利用率の推移

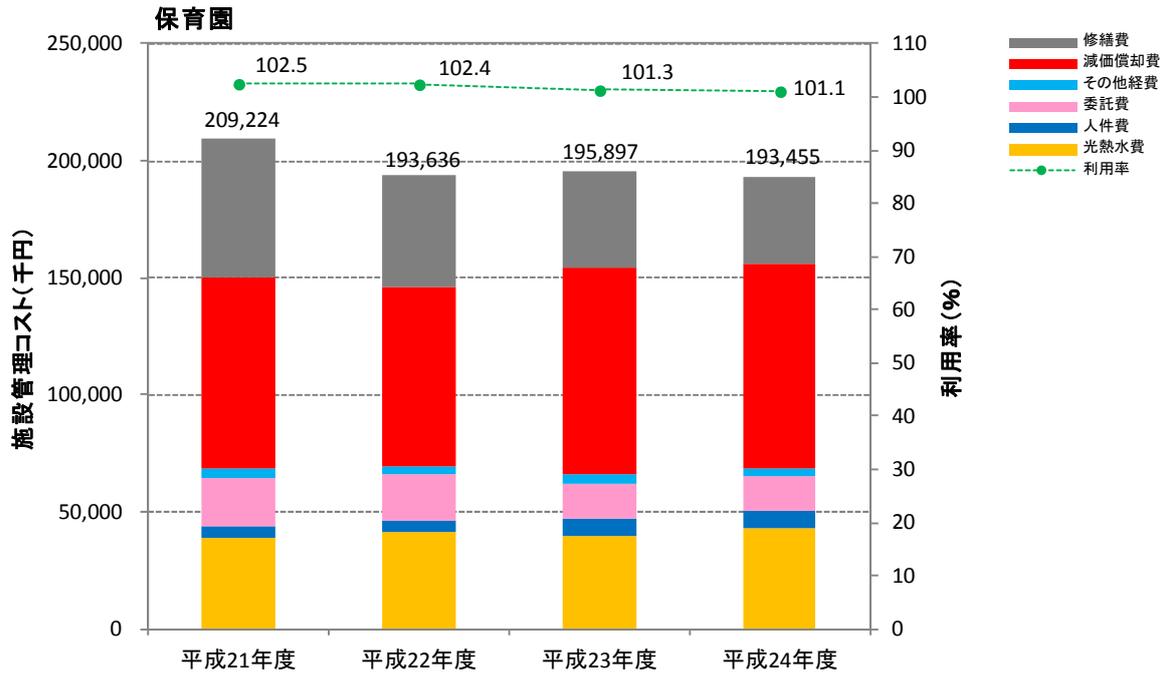


図 4-81. 保育園における施設管理コストの推移

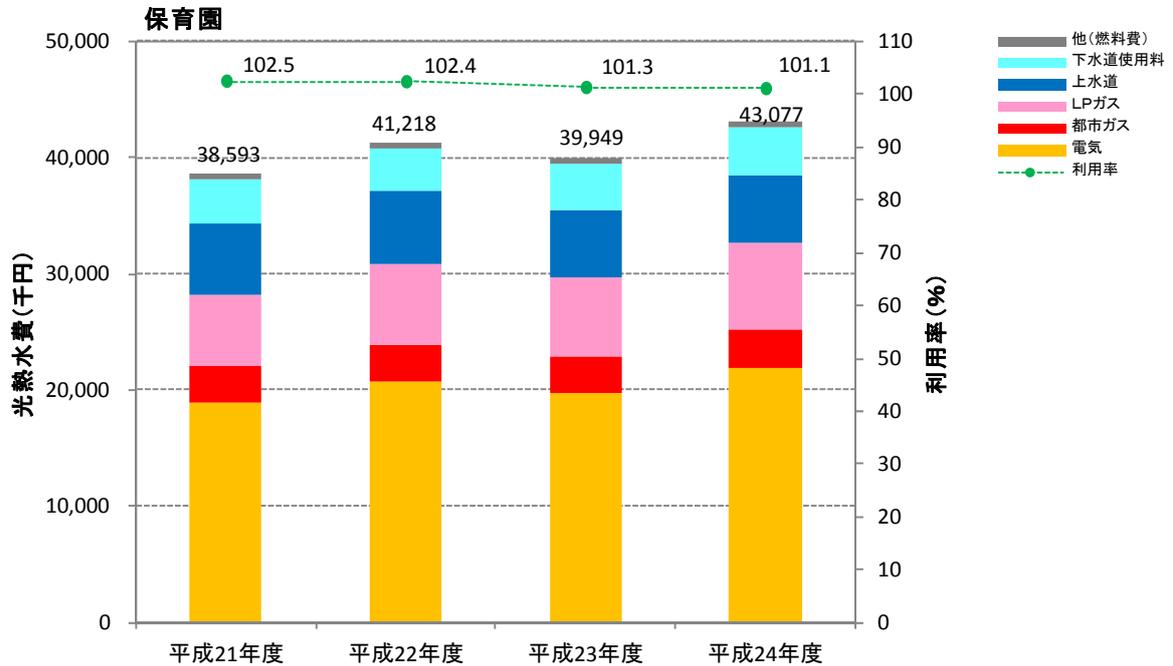


図 4-82. 保育園における光熱水費の推移

③ 施設管理コストの施設間比較

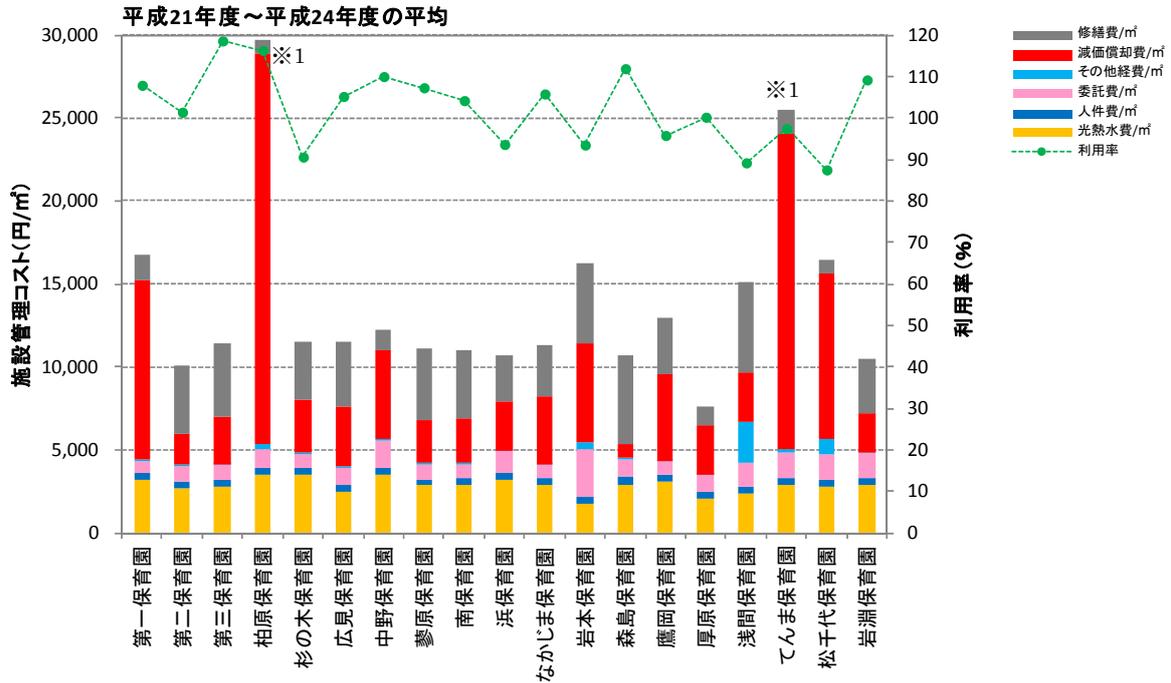


図 4-83. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

※1 柏原保育園とてんま保育園の減価償却費の割合が大きい要因は、新築時に旧建物の未償却費があり、延床面積が小さいため。

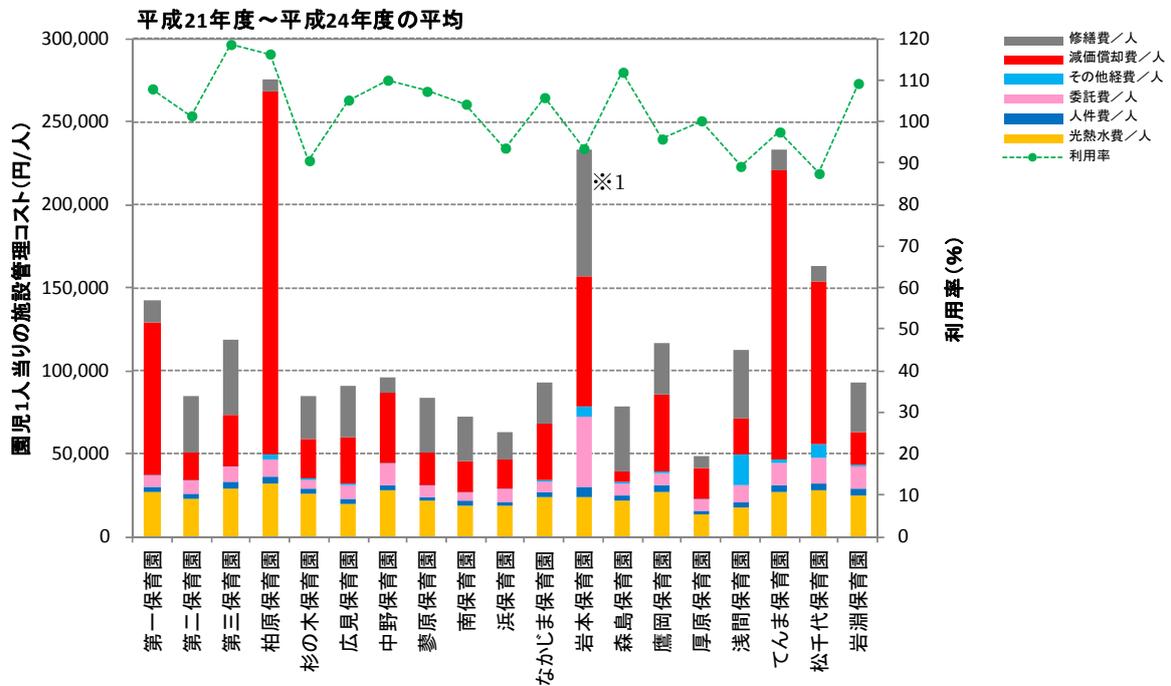


図 4-84. 園児 1 人当りの施設管理コスト

※1 若本保育園の委託費と修繕費の割合が大きい要因は、改築によるもの。

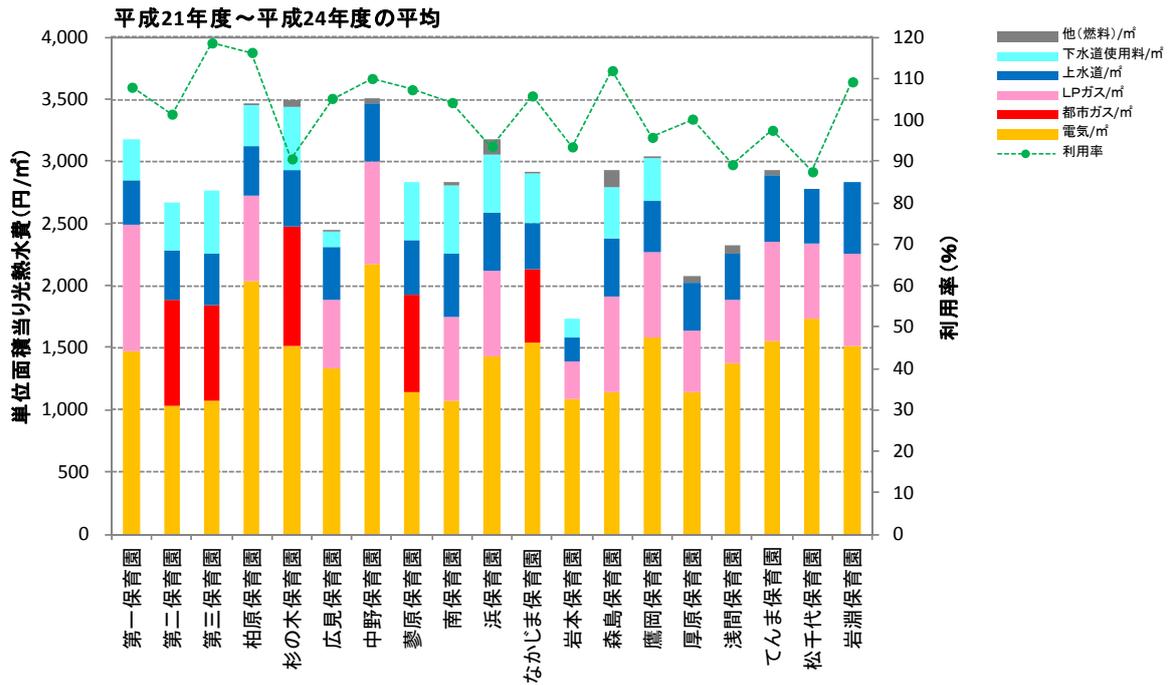


図 4-85. 単位面積当りの光熱水費の施設間比較

④ ポートフォリオ分析

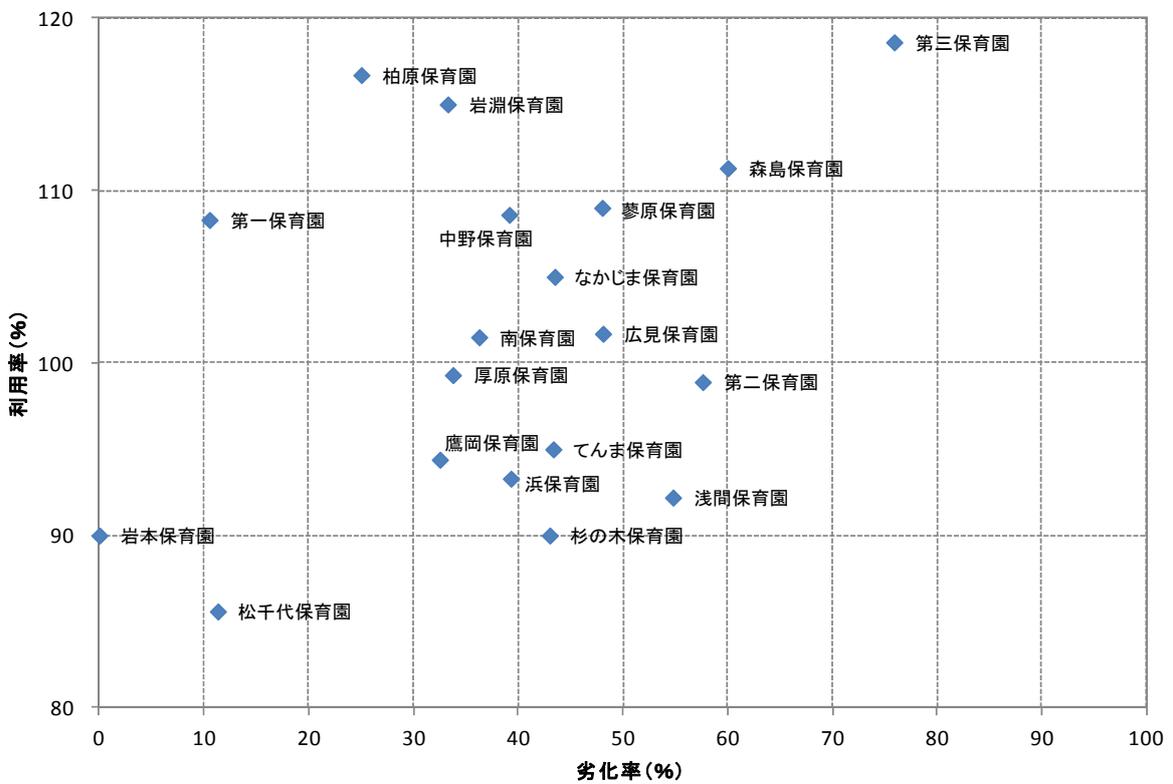


図 4-86. 劣化率と利用率の関係

⑤ 補足説明

- 1) 総延床面積の6割近くが建築後15年以上30年未満となっており、今後、設備を中心とした中規模改修が増えることが予想される。
- 2) 保育対象年齢の人口は減少傾向にあるものの、共働き世代が増えるというライフスタイルの変化によって19施設のうち半数以上は、利用率が100%を超えており、全般的に不足状態といえる。
- 3) 単位面積当たり及び利用者(園児)1人当たりの施設管理コストは他施設と比較して高額な傾向にあり、特に小規模園のコストが突出している。内訳としては減価償却費に係るコストが多く、保育園については給食室の設置や保育室の面積等の設置基準があるため、やむを得ない部分もあるが、大規模改修等の機会を捉えて改善を図ることも必要と考えられる。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

第一保育園	平成15年度(2003年度)	旧園舎解体
	平成16年度(2004年度)	改築
第三保育園	平成18年度(2006年度)	耐震補強
広見保育園	平成23年度(2011年度)	公共下水道接続
蓼原保育園	平成20年度(2008年度)	耐震補強
岩本保育園	平成21年度(2009年度)	旧園舎解体
	平成22年度(2010年度)	改築
森島保育園	平成21年度(2009年度)	耐震補強
鷹岡保育園	平成21年度(2009年度)	公共下水道接続
松千代保育園	平成15年度(2003年度)	移転改築

(14) 幼稚園

幼稚園は、学校教育法第22条、23条に基づく幼児教育を目的とした施設である。市内には、市立幼稚園が11施設、私立幼稚園が15施設、認定こども園が3施設あり、施設数は私立幼稚園の方が多い。

※私立保育園及び認定こども園の施設数は平成25年4月時点の情報。

① 施設基本情報と配置

表 4-18. 幼稚園における基本情報及び利用率

施設名	地区	延床面積 (㎡)	運営	平成24年度 定員*1(人)	利用率*2			
					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
元吉原幼稚園	元吉原	927.64	直営	140	19.3%	20.7%	16.4%	12.9%
昭和幼稚園	吉永	1,298.72	直営	210	62.4%	66.2%	60.5%	56.7%
原田幼稚園	原田	1,198.01	直営	210	52.9%	46.7%	44.8%	56.7%
岩松幼稚園	岩松	1,415.15	直営	210	98.1%	94.8%	95.7%	96.2%
大淵幼稚園	大淵	1,140.27	直営	140	72.1%	72.9%	72.9%	73.6%
田子浦幼稚園	田子浦	1,448.07	直営	210	87.6%	89.5%	92.4%	91.0%
浜幼稚園	田子浦	809.19	直営	140	55.7%	52.9%	57.9%	53.6%
南幼稚園	富士駅南	960.36	直営	140	62.1%	60.0%	60.0%	55.0%
天間幼稚園	天間	959.29	直営	140	72.1%	68.6%	70.0%	73.6%
富士川第一幼稚園	富士川	653.26	直営	210	31.0%	27.1%	26.2%	20.5%
富士川第二幼稚園	松野	876.69	直営	210	27.6%	34.8%	33.8%	38.6%
全体		11,686.65	—	1,960	58.6%	58.1%	57.7%	57.7%

\*1 保育室数×35人

\*2 利用率=児童数/定員

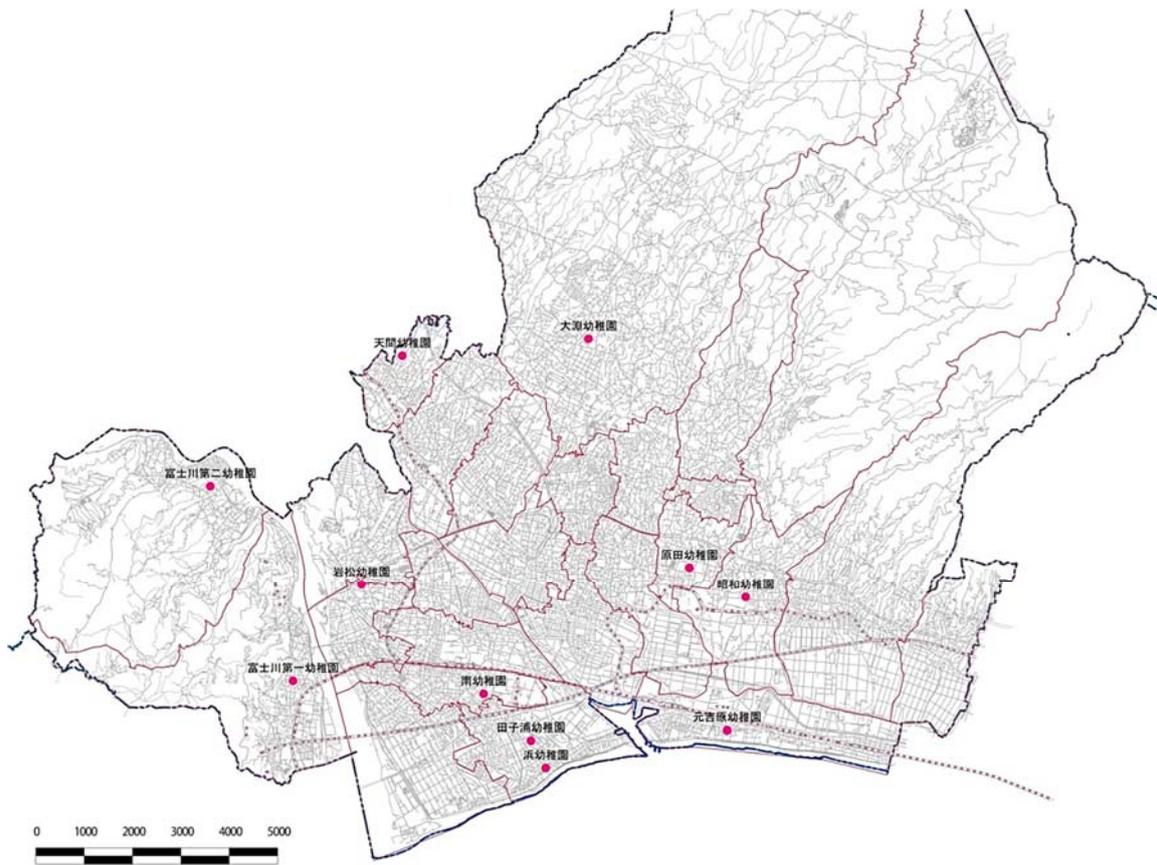


図 4-87. 市立幼稚園の配置状況

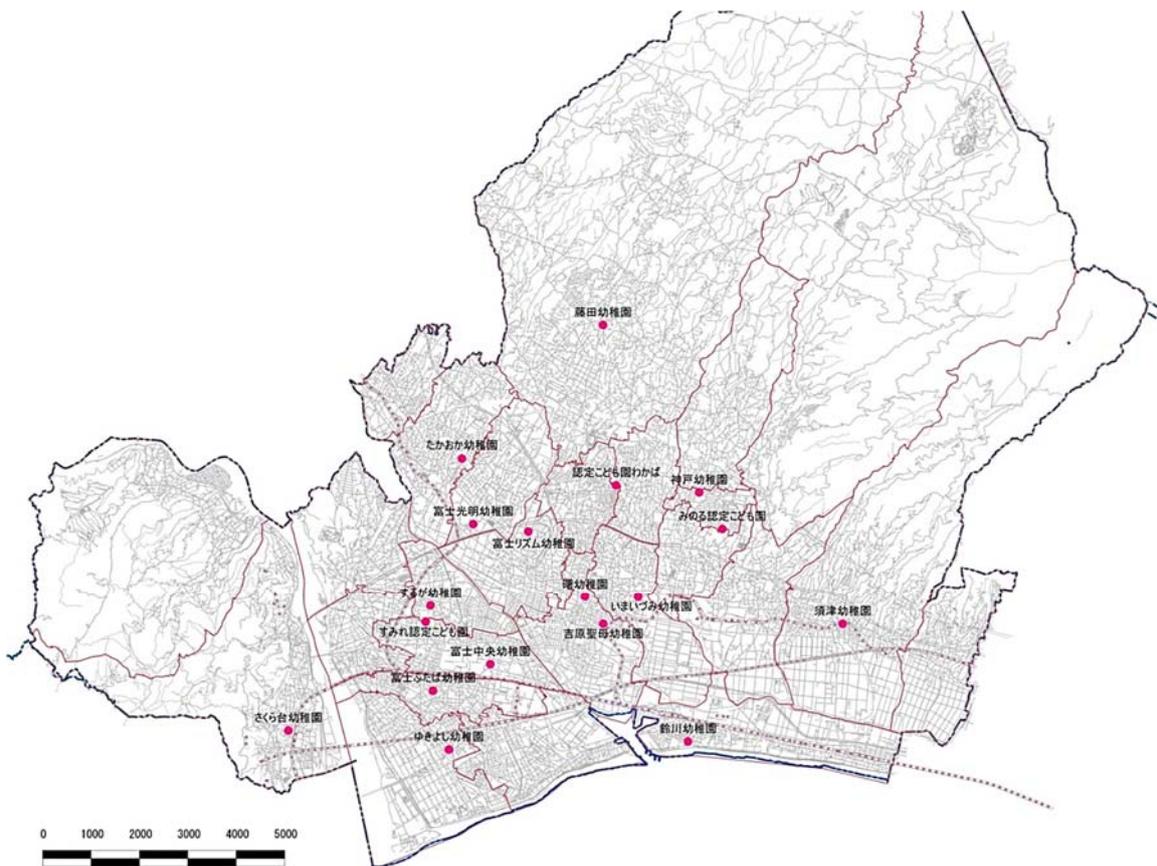


図 4-88. 私立幼稚園の配置状況

② 施設管理コストと利用率の推移

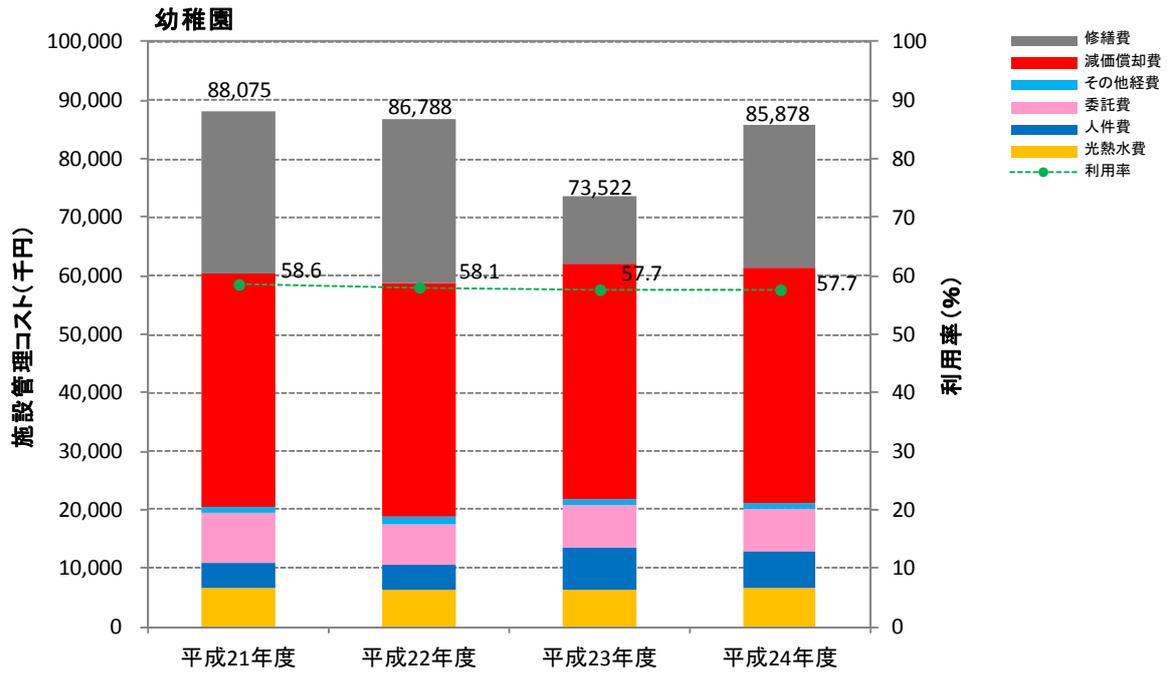


図 4-89. 幼稚園における施設管理コストの推移

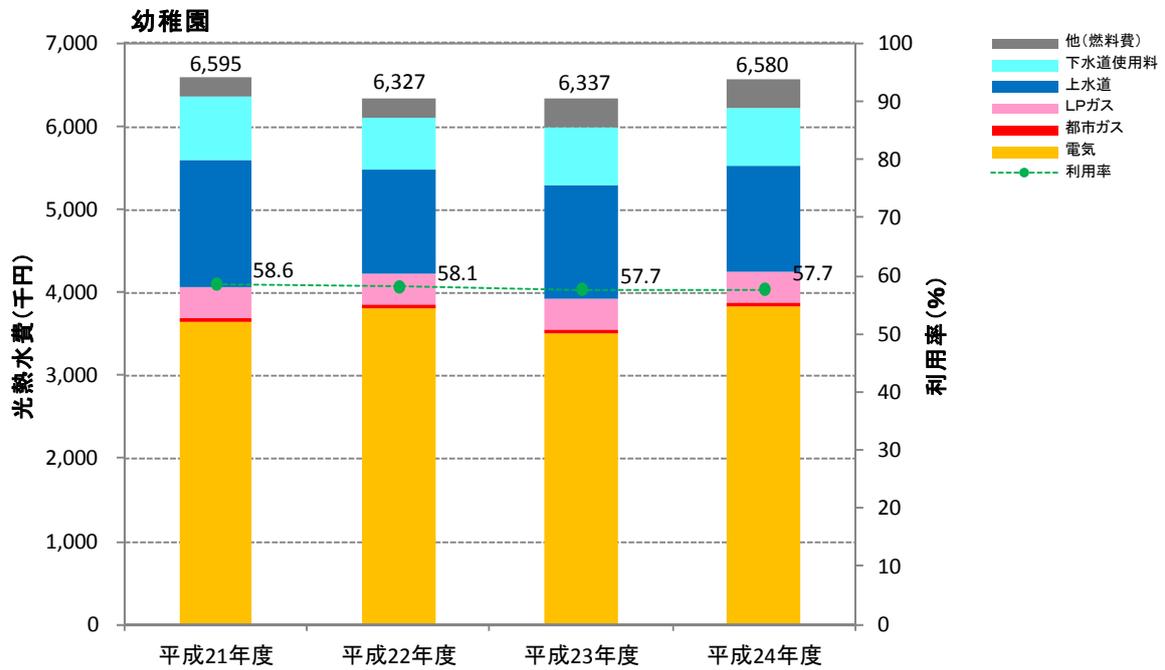


図 4-90. 幼稚園における光熱水費の推移

### ③ コストの施設間比較

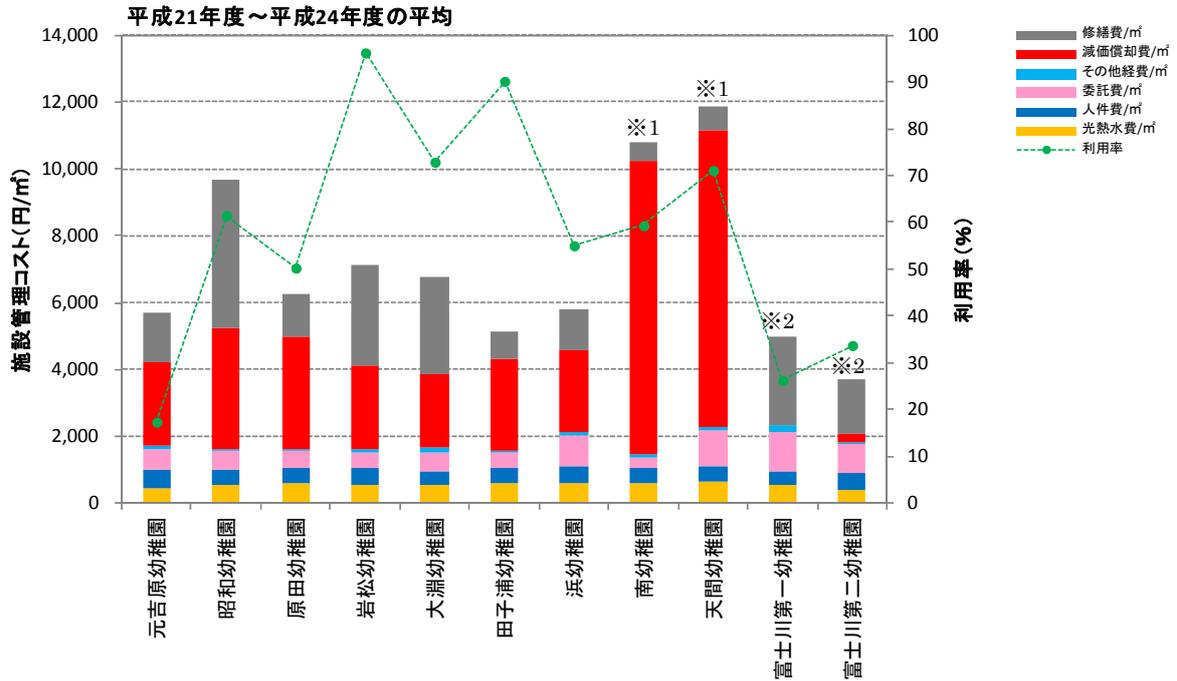


図 4-91. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

※1 南幼稚園と天間幼稚園の減価償却費の割合が大きい要因は、新築時設備工事の未償却費。

※2 富士川第一幼稚園と富士川第二幼稚園の減価償却費の割合が小さい要因は、建築年が古く、全棟がほぼ償却し終えているため。

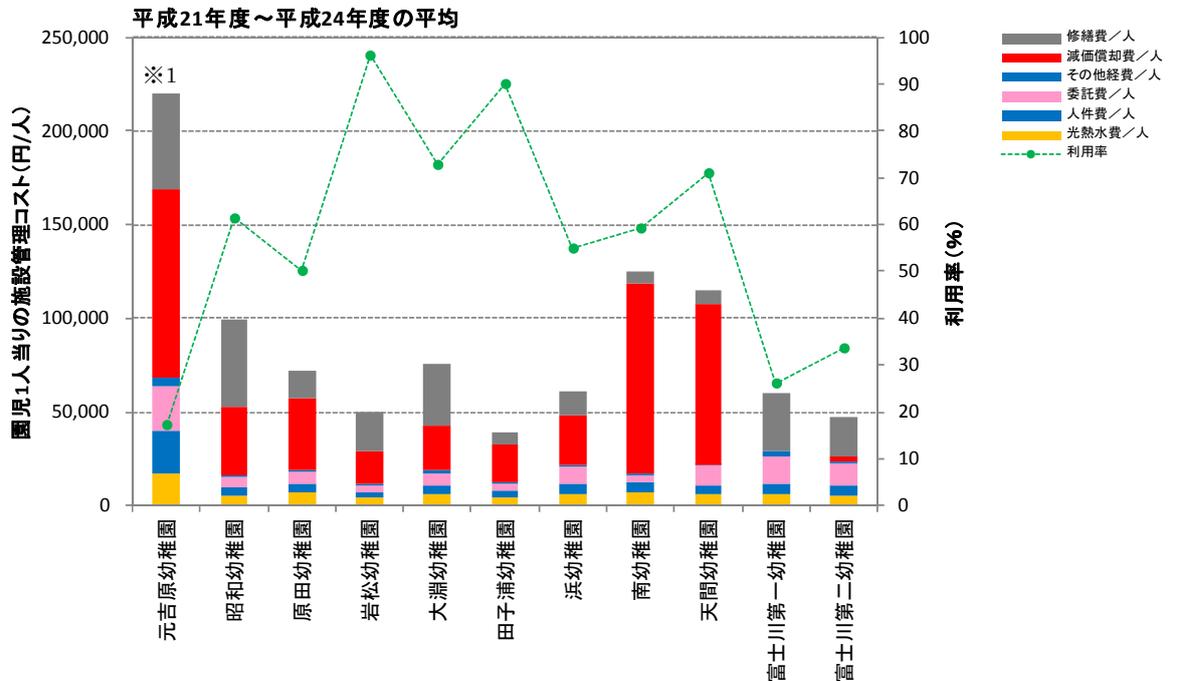


図 4-92. 園児 1 人当りの施設管理コスト

※1 元吉原幼稚園のコストの割合が大きい要因は、園児数が少ないため。

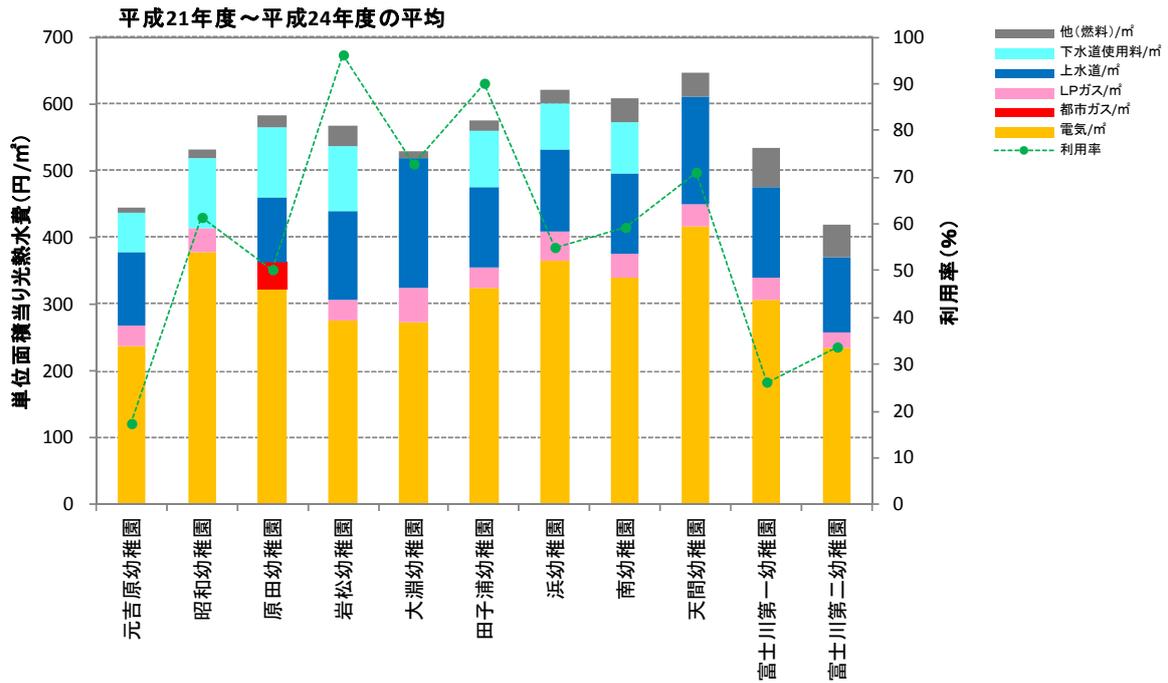


図 4-93. 単位面積当りの光熱水費の施設間比

④ ポートフォリオ分析

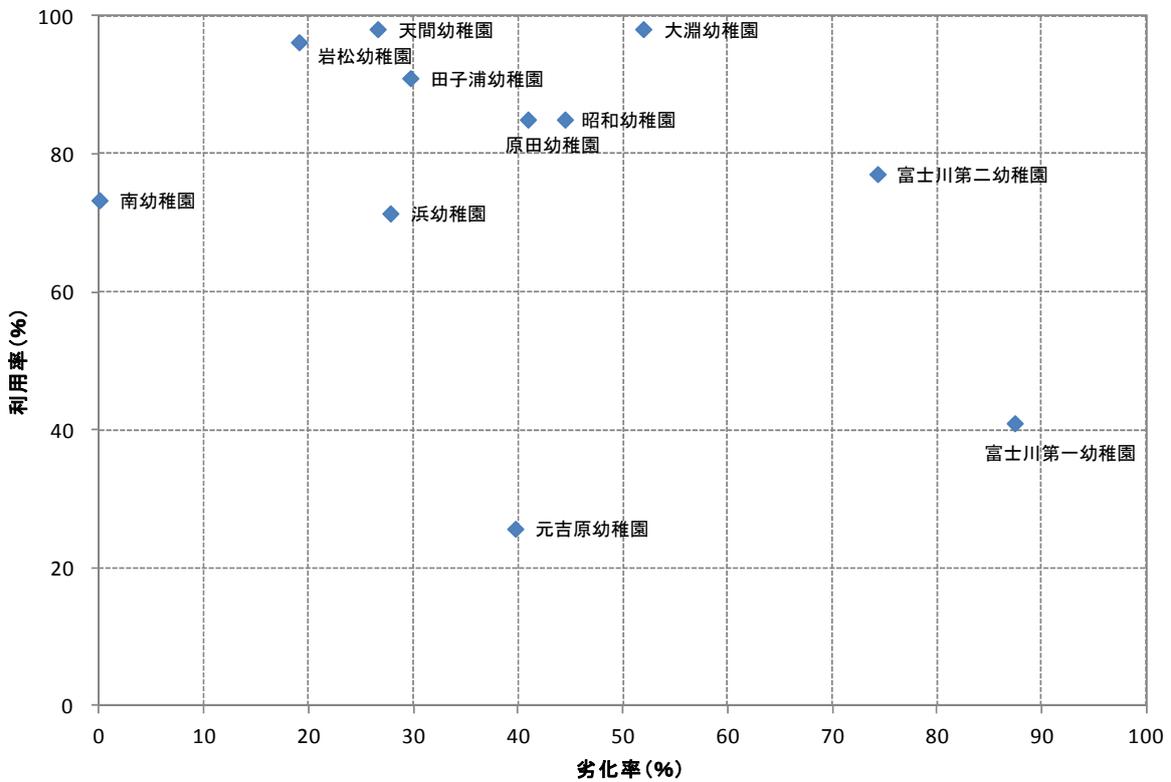


図 4-94. 劣化率と利用率の関係

⑤ 補足説明

- 1) 総延床面積の6割近くが建築後15年以上30年未満となっており、今後、設備を中心とした中規模改修が増えることが予想される。
- 2) 施設の分布や周辺地区人口、私立施設の設置状況などにより、各施設の利用率に差がある。また、利用状況の違いにより園児1人あたりの施設管理コストに差が生じている。
- 3) 全体の半数以上の施設の利用率が100%を超える保育園と比較すると、かなり低めである。
- 4) 利用率は横ばいまたはやや下がる傾向にあるが、光熱水費は増加傾向にある。
- 5) 私立幼稚園の数も充実しており、今後園児数の状況に応じて市立幼稚園の施設数について検討していく必要がある。
- 6) 富士川第二幼稚園と松千代保育園の統合について検討が行われているところであるが、幼稚園に比べて保育園の需要が高いことから、継続的に同様の検討を行っていく必要がある。
- 7) 民間は認定こども園への移行が積極的に進められており、現在も複数の施設が計画中である。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

大淵幼稚園	平成24年度(2012年度)	耐震補強
南幼稚園	平成15年度(2003年度)	旧園舎解体・改築

★今後実施予定・計画中の工事等

富士川第二幼稚園	平成26年度(2014年度)	以降幼保園として改築予定
----------	----------------	--------------

## (15) 子育て支援施設

子育て支援施設は、児童クラブ、児童館、ファミリーサポートセンター及び地域子育て支援センターを対象としている。

児童クラブは、放課後帰宅しても保護者のいない児童を対象に育成指導を行うことを目的として設置されている。

児童館は、地域において児童に健全な遊びを通して、健康を増進するとともに、情操を豊かにすることを目的として設置されている。

ファミリーサポートセンターは、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を対象として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行っている。

地域子育て支援センターは、保育園・幼稚園の入園前の幼児を主に、親子で遊びを通じてふれあい、他の親子と交流することを目的として配置されている。

### ① 施設基本情報と配置

表 4-19. 子育て支援施設における基本情報及び利用状況

施設名	地区	延床面積(㎡)	運営	平成24年度 定員(人)	指標	利用状況			
						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
広見子どもクラブA・B(青少年センター)	広見	95.00	民間	65	利用率*4	124.6%	112.3%	130.8%	118.5%
富士見台児童クラブ	富士見台	105.90	民間	50	利用率	86.0%	96.0%	78.0%	86.0%
富士かじま児童クラブ[第1.2]	富士駅北	308.50	民間	100	利用率	-	81.0%	90.0%	90.0%
小木の里子どもクラブ[A・B]	富士駅南	251.73	民間	80	利用率	95.0%	105.0%	106.3%	112.5%
大淵児童クラブ(大淵第一小学校)	大淵	61.69	民間	30	利用率	133.3%	143.3%	123.3%	106.7%
ききょうの里子どもクラブA	富士南	140.18	民間	60	利用率	83.3%	83.3%	81.7%	81.7%
ききょうの里子どもクラブB・C	富士南	298.12	民間	100	利用率	-	-	88.0%	89.0%
須津なかよしクラブ	須津	111.79	民間	50	利用率	74.0%	78.0%	78.0%	72.0%
須津げんきクラブ(須津小学校)	須津	64.80	民間	40	利用率	95.0%	100.0%	97.5%	90.0%
よしわらっ子児童クラブ(吉原小学校)	吉原	63.75	民間	65	利用率	78.5%	72.3%	73.8%	64.6%
いまいずみ児童クラブ[第1.2]	今泉	276.84	民間	100	利用率	85.0%	89.0%	102.0%	89.0%
伝法児童クラブ[第1.2]	伝法	245.50	民間	100	利用率	101.0%	109.0%	89.0%	85.0%
丘第1児童クラブ	丘	112.63	民間	50	利用率	122.0%	136.0%	140.0%	130.0%
たごうら南児童クラブ	田子浦	107.64	民間	50	利用率	146.0%	84.0%	90.0%	76.0%
たごうら北児童クラブ	田子浦	145.67	民間	50	利用率	-	84.0%	86.0%	76.0%
元吉原児童クラブ(元吉原小学校)	元吉原	63.75	民間	30	利用率	96.7%	83.3%	113.3%	126.7%
岩松北第1児童クラブ	岩松北	111.79	民間	50	利用率	106.0%	102.0%	106.0%	80.0%
岩松北第2・3児童クラブ	岩松北	299.78	民間	100	利用率	-	-	-	79.0%
青葉台児童クラブA	青葉台	121.61	民間	50	利用率	170.0%	122.0%	110.0%	98.0%
青葉台児童クラブB	青葉台	133.05	民間	40	利用率	-	105.0%	135.0%	125.0%
松風児童クラブ1	鷹岡	113.44	民間	50	利用率	114.0%	80.0%	74.0%	78.0%
松風児童クラブ2(鷹岡小学校)	鷹岡	64.80	民間	40	利用率	82.5%	77.5%	67.5%	62.5%
はらだ児童クラブ	原田	111.79	民間	50	利用率	130.0%	118.0%	86.0%	86.0%
てんまっ子児童クラブ	天間	151.46	民間	50	利用率	106.0%	100.0%	118.0%	118.0%
吉永第一児童クラブ(吉永第一小学校)	吉永	135.11	民間	50	利用率	104.0%	78.0%	86.0%	72.0%
神戸児童クラブ(神戸小学校)	神戸	63.75	民間	30	利用率	86.7%	70.0%	83.3%	120.0%
岩松かりがね学童クラブ	岩松	291.50	民間	30	利用率	146.7%	146.7%	173.3%	170.0%
よきた児童クラブ	吉永北	106.82	民間	40	利用率	65.0%	72.5%	72.5%	67.5%
富士本児童クラブ	大淵	79.50	民間	20	利用率	27.5%	32.5%	47.5%	85.0%
ふじかわスマイルクラブ(富士川第一小学校)	富士川	99.18	民間	45	利用率	100.0%	95.6%	93.3%	82.2%
松野ハッピークラブ(富士川第二小学校)	松野	85.50	民間	40	利用率	90.0%	77.5%	75.0%	95.0%
浮島児童クラブ(東小学校)	浮島	127.50	民間	30	利用率	40.0%	53.3%	36.7%	43.3%
広見児童館	広見	337.35	直営	-	利用者数(人/日)	60.8	60.0	56.2	57.5
ぐるん・ば よねのみや	富士北	245.95	直営	-	利用者数(人/日)	77.3	84.5	81.8	85.3
富士市ファミリー・サポート・センター*1	富士駅北	26.00	直営	-	利用者数(人/日)	41.0	48.4	42.7	45.6
地域子育て支援センターカスターネット*1	富士駅北	303.00	直営	-	利用者数(人/日)	10.8	12.6	12.8	16.1
地域子育て支援センタートライアングル*2	鷹岡	129.06	直営	-	利用者数(人/日)	10.8	9.9	11.5	12.0
地域子育て支援センター丸ん*3	松野	103.83	直営	-	利用者数(人/日)	10.8	9.9	11.5	12.0

※カッコ内は併設する主たる施設名

\*1 コスト等は併設する主たる施設(富士市保健センター)において評価する

\*2 コスト等は併設する主たる施設(浅間保育園)において評価する

\*3 コスト等は併設する主たる施設(松千代保育園)において評価する

\*4 利用率=児童数/定員

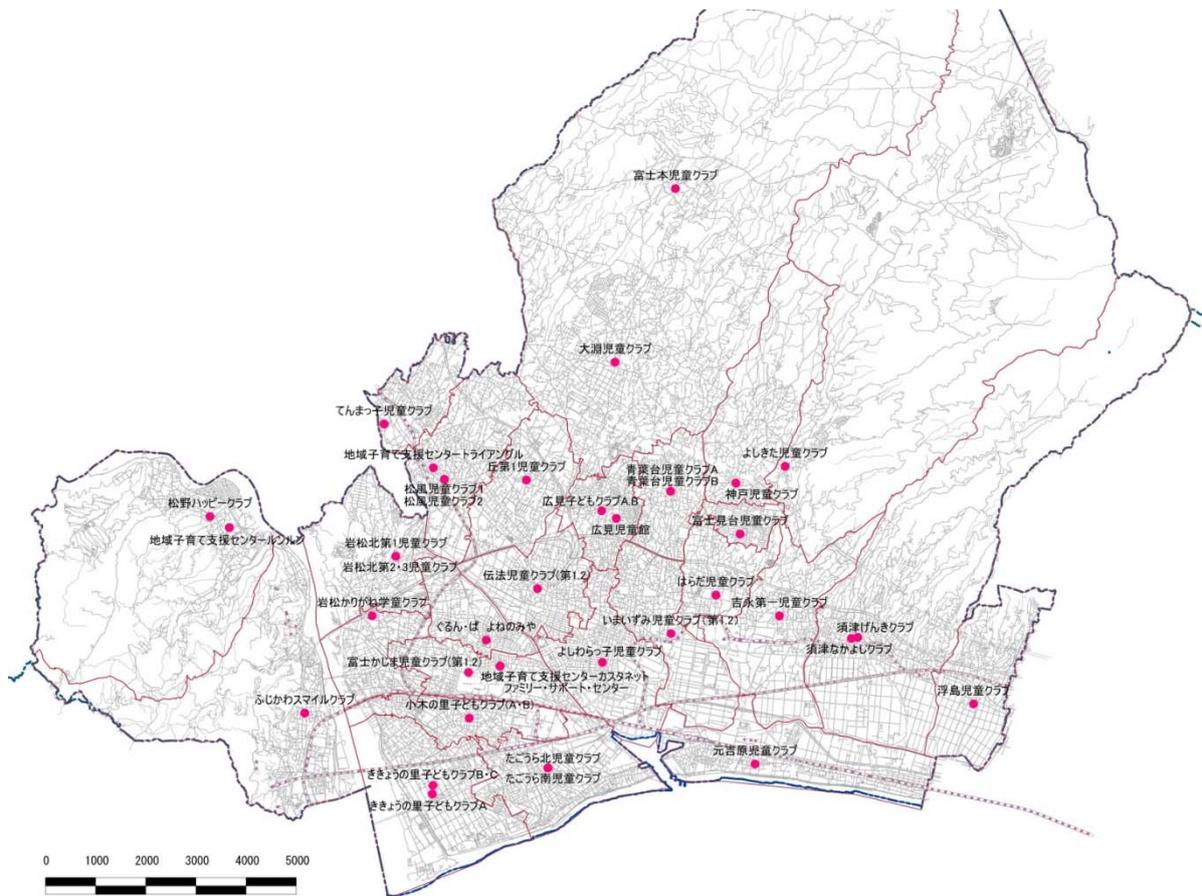


図 4-95. 子育て支援施設の配置状況

② 施設管理コストの推移

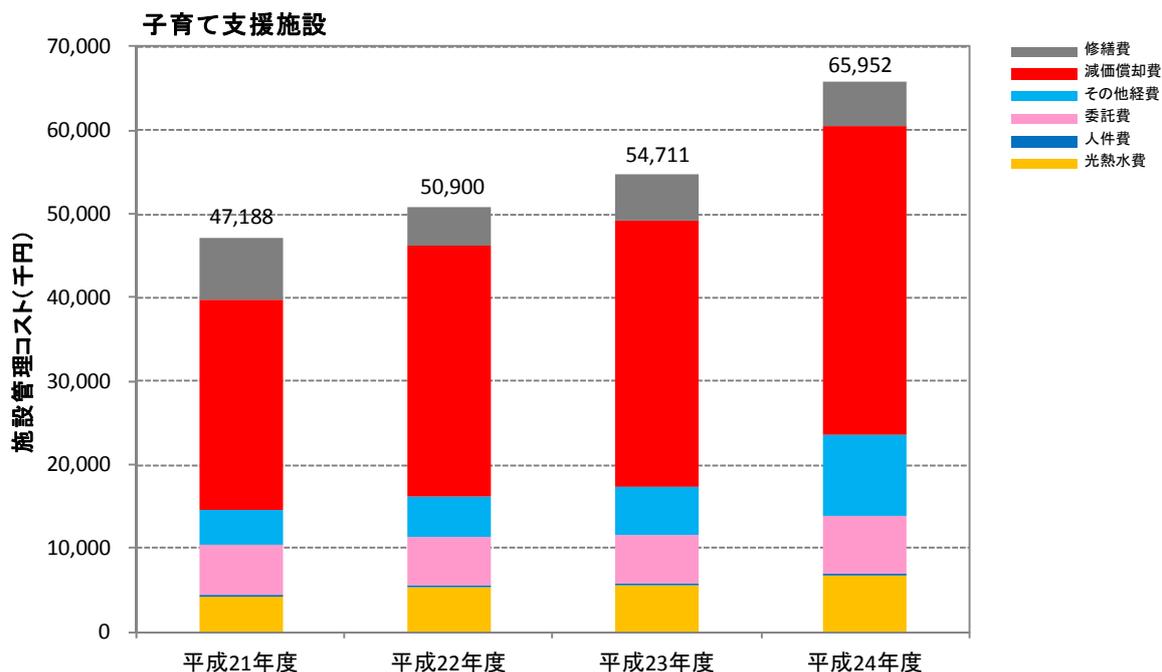


図 4-96. 子育て支援施設における施設管理コストの推移

※ 施設数が、平成 21 年度 33 施設、平成 22 年度 36 施設、平成 23 年度 37 施設、平成 24 年度 38 施設と増加している。

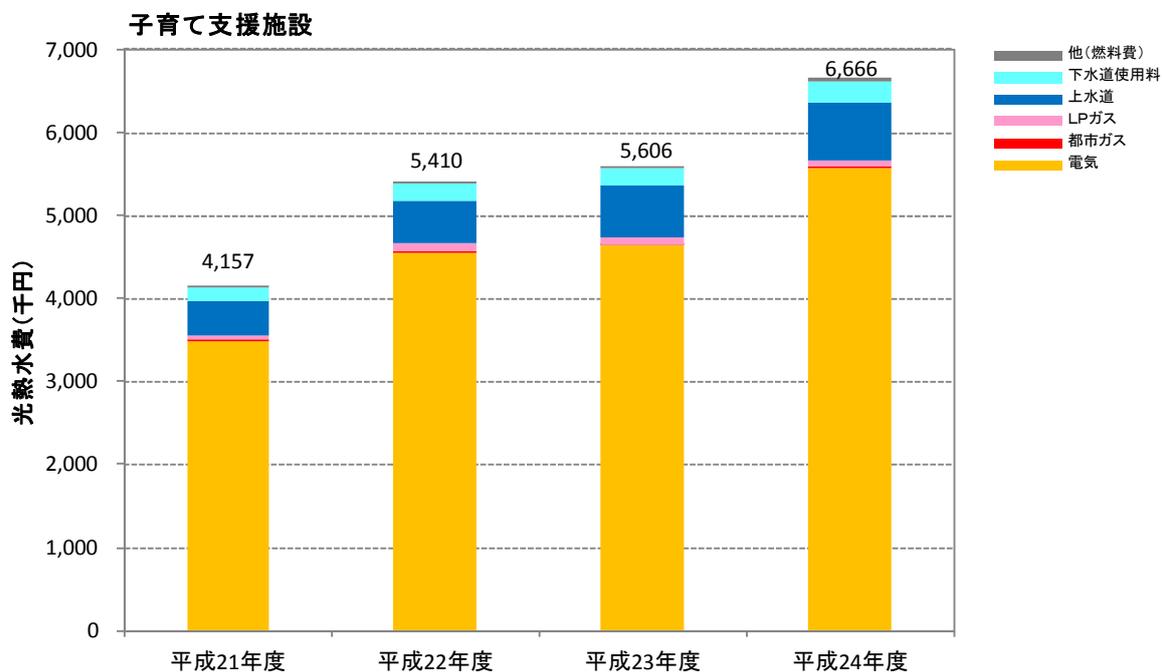


図 4-97. 子育て支援施設における光熱水費の推移

※放課後児童クラブについては、運営が民間であるため、他施設と同様に施設管理コストとして光熱水費を計上しているが、実際の支払いは市ではなく運営主体である運営委員会。本来であれば市のコストではないため雑入となるが、施設数も多いため、実態としてどのくらいの光熱水費がかかっているかという視点に立ち評価対象としている。児童館や地域子育て支援センターなどの直営施設に関しては広見児童館のみ担当課にて光熱水費を支出しており、他の施設は親施設にて支出している。

③ 施設管理コストの施設間比較

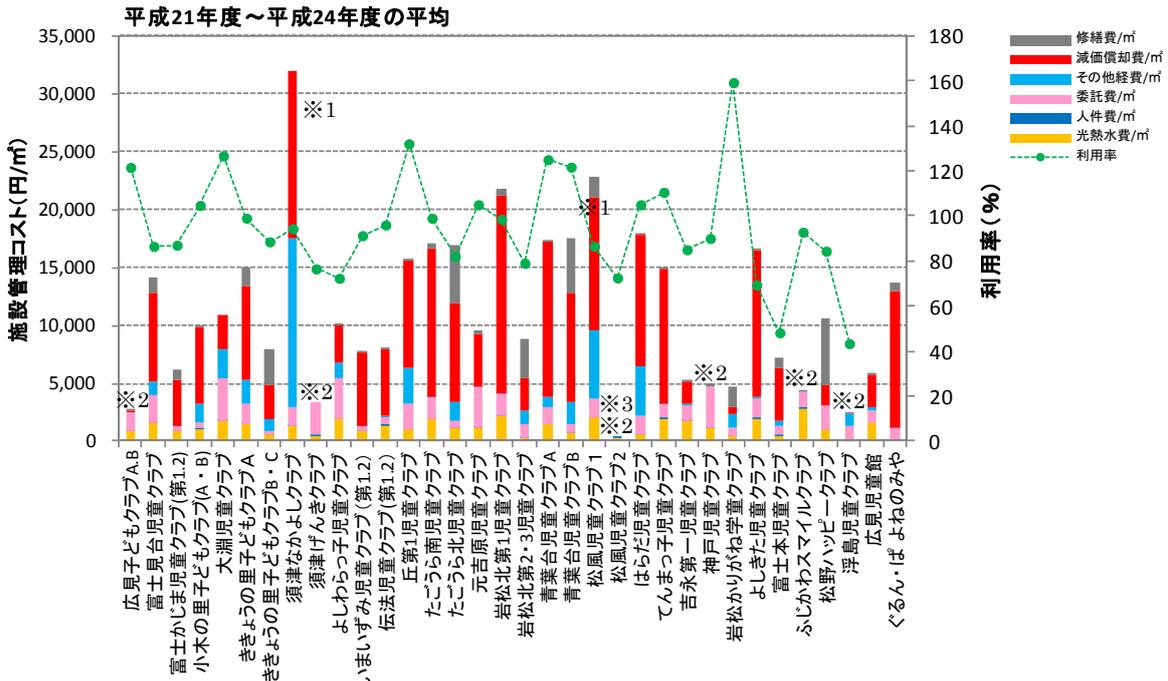


図 4-98. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

※1 須津なかよしクラブと松風児童クラブ1のその他経費の割合が大きい要因は、借地料。  
 ※2 コストが小さい施設は、減価償却等が無い、もしくは小さいため。その理由として、学校の空き教室利用等の親施設を利用している施設であるため(空き教室等を改修して施設開設した施設は除かれるが、広見子どもクラブA・B・須津げんきクラブ・松風児童クラブ2・神戸児童クラブ・ふじかわスマイルクラブ・浮島児童クラブは減価償却費が0円)。  
 ※3 松風児童クラブ2は、電気代以外のコストを親施設である鷹岡小学校にて負担。

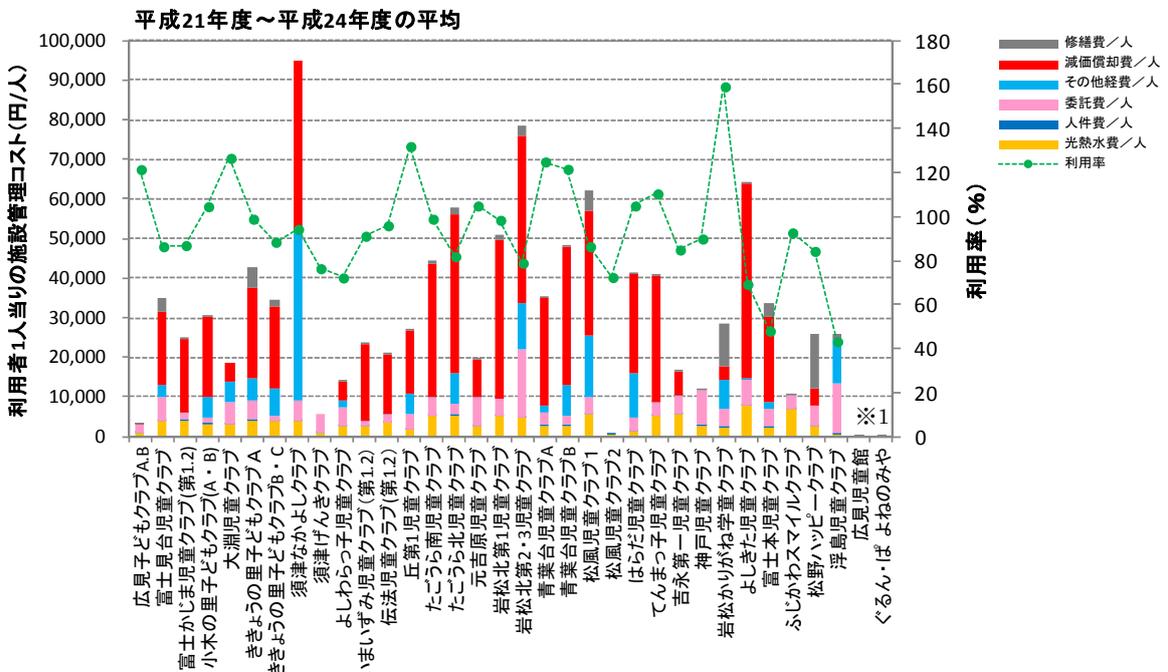


図 4-99. 利用者1人当りの施設管理コスト

※1 広見児童館とぐるん・ば よねのみやのコストが小さくグラフ上見えてこない要因は、利用者が定員制ではなく通いの件数で1人当たりのコストを算出しているため。それぞれの利用者1人当たりの施設管理コストはコスト総計で広見児童館が115円/人、ぐるん・ば よねのみやが138円/人。

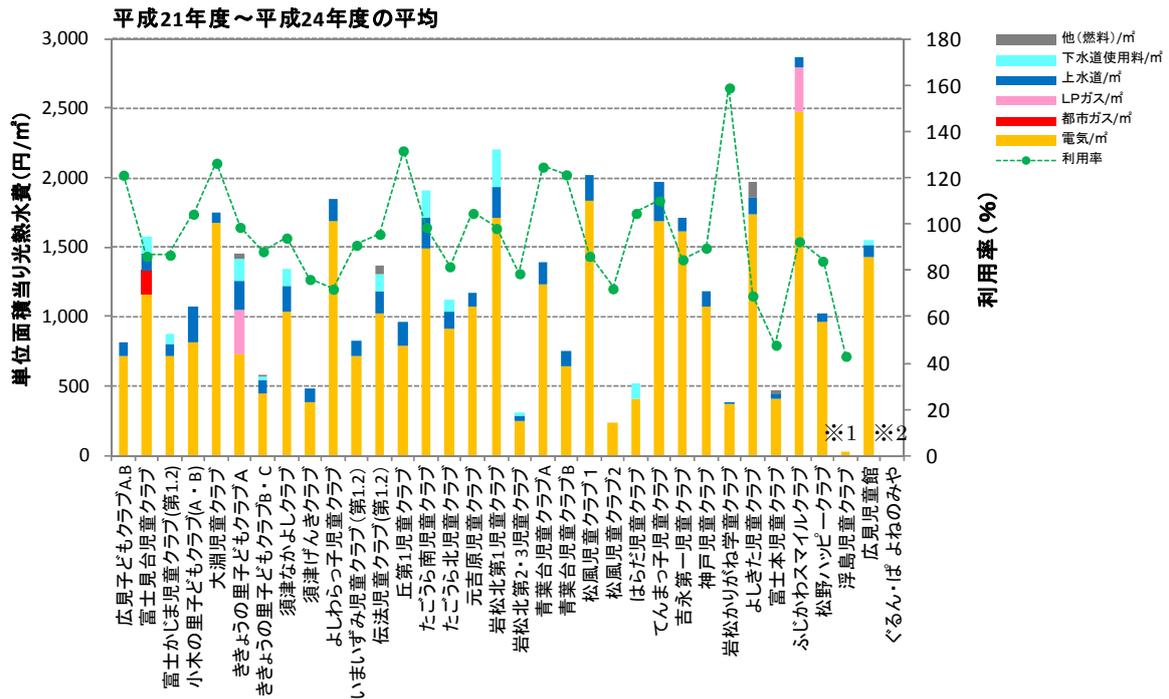


図 4-100. 単位面積当りの光熱水費の施設間比較

- ※1 浮島児童クラブは、学校余裕教室を併用の形で利用している。電気についてはエアコンの使用料のみ子メーターによる管理を行い、クラブが教育委員会に支払っており、小額のためグラフ上見えてこない。
- ※2 ぐるん・ば よねのみやは、米之宮公園内にあり、公園体験施設である。電気・水道料については、公園を管理するみどりの課にて公園全体として支払っており、内訳の算出は不可。

#### ④ ポートフォリオ分析

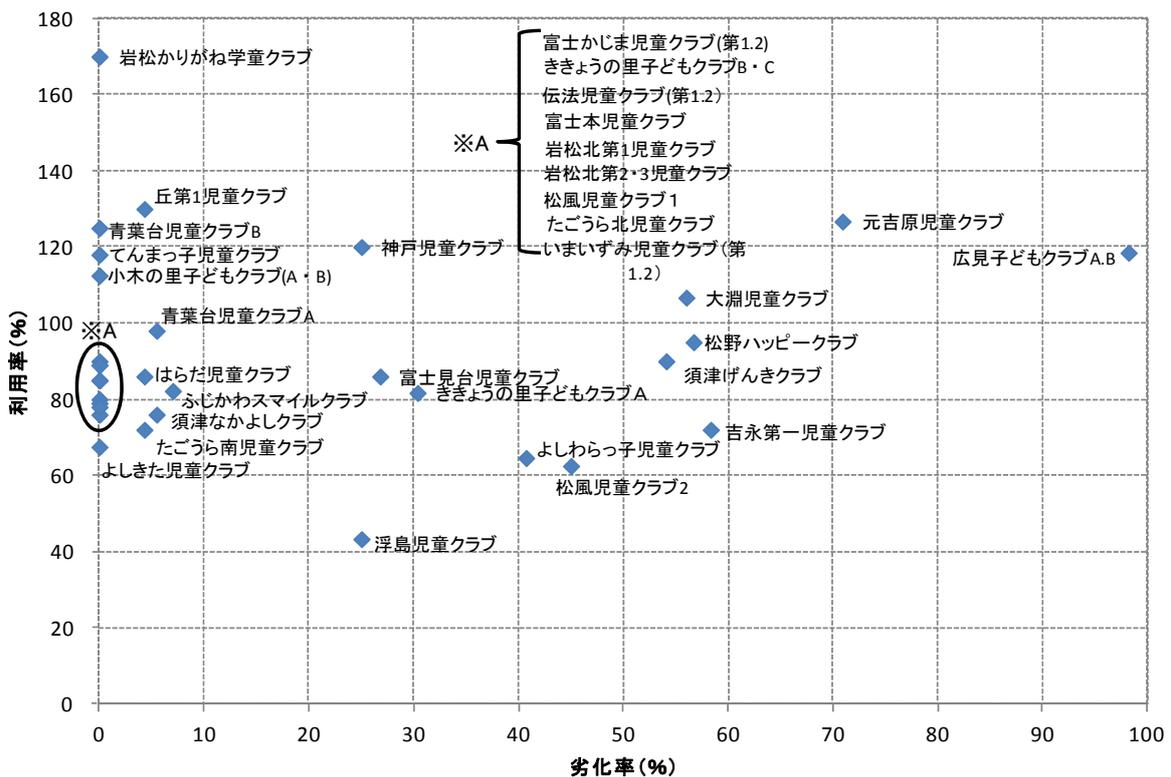


図 4-101. 劣化率と利用率の関係

※ 広見児童館とぐるん・ば よねのみやは定員を定めていないため、利用率算出不可。

#### ⑤ 補足説明

- 1) 近年の子育て支援需要の増加により、施設数は増えている<sup>A)</sup>。これらは比較的新しい建築物が多く、総延床面積の6割強が建築後15年未満となっている。
- 2) 施設数が増えている状況から、施設管理コストは年々増加する傾向にある。光熱水費についても同様である。
- 3) 児童クラブの約3割が小学校の校舎内に設置されているが、新たに施設を建設するケースが増えている。施設整備の基本的な考え方は「富士市放課後児童クラブガイドライン」に示されているとおり、空き教室等の活用を優先すべきとされていることから、施設の拡充については十分な検討が必要である。
- 4) 一方、同一敷地内に、同一規模の施設が続けて建設されている事例が複数見られることから、利用者数の変動等を見据えた計画的な建設が求められる。

A) 平成21年以降の新設状況は次の通りである。

平成21年(2009年)

- ・ いまいずみ児童クラブ建設(旧施設は今泉小学校空き棟内を使用)
- ・ 小木の里子どもクラブ建設(旧施設は富士第二小学校空き教室を使用)

平成 22 年（2010 年）

- ・富士かじま児童クラブ建設（富士かじま児童クラブの発足と併せ建設）
- ・たごうら北児童クラブ建設（平成 15 年（2003 年）に田子浦小学校空き教室を使用していた「たごうら南児童クラブ」を学校敷地内に建設。その後、学校敷地内に「たごうら北児童クラブ」を建設）
- ・青葉台児童クラブ B 建設（2005 年（平成 17 年）に青葉台小学校敷地内に「青葉台児童クラブ A」を建設。その後、利用児童数の増加により、学校敷地内に「青葉台児童クラブ B」を建設）

平成 23 年（2011 年）

- ・ききょうの里子どもクラブ BC 建設（平成 10 年（1998 年）に「ききょうの里こどもクラブ A」を建設。その後、利用児童数の増加により、富士南小学校敷地内に「ききょうの里こどもクラブ BC」を建設）

平成 24 年（2012 年）

- ・岩松北第 2・3 児童クラブ建設（平成 15 年（2003 年）に「岩松北第 1 児童クラブ」を建設。その後、利用児童数の増加により「岩松北第 2・3 児童クラブ」を建設）
- ・富士本児童クラブ建設（旧施設は大淵第二小学校空き棟使用）

平成 25 年（2013 年）

- ・岩松かりがね児童クラブ建設（旧施設は岩松小学校空き教室内を使用）
- ・丘第 2・3 児童クラブ（平成 13 年（2001 年）に「丘第 1 児童クラブ」を建設。その後、利用児童数の増加により、「丘第 2・3 児童クラブ」を建設）
- ・東部児童館建設（平成 5 年（1993 年）に「広見児童館」、平成 15 年（2003 年）に「ぐるん・ぱ よねのみや」の 2 館を開設し、市内 3 番目の児童館として建設）

平成 25 年（2013 年）～平成 26 年（2014 年）

- ・松風児童クラブ 2 を鷹岡小学校敷地内に建設（旧施設は鷹岡小学校空き教室内を使用）

平成 26 年（2014 年）

- ・富士北児童クラブを富士中央小学校敷地内に建設（旧施設は、民間建物内にて運営）

(16) 高齢者福祉施設

老人福祉法に定める老人福祉施設として、養護老人ホーム<sup>A)</sup> や、老人福祉センターに当たる社会福祉センター等を配置している。

① 施設基本情報と配置

表 4-20. 高齢者福祉施設における基本情報及び利用率

施設名	地区	延床面積(m <sup>2</sup> )	運営	年間利用可能人数(人)	指標	利用状況			
						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
老人ホーム駿河荘 <sup>*1</sup>	富士見台	3,538.52	直営	1,200	利用率 <sup>*4</sup>	90.1%	85.6%	81.7%	80.8%
ふれあいの家 <sup>*2</sup>	富士駅北	124.90	民間	—	—	—	—	—	—
富士川地域福祉センター	富士川	1,678.23	直営	39,650	利用率	28.7%	29.9%	31.0%	34.6%
滝川福祉センター	原田	597.68	委託	25,300	利用率	66.9%	56.9%	56.6%	48.7%
元町福祉センター	富士駅北	282.38	委託	18,180	利用率	68.5%	79.4%	84.0%	76.5%
社会福祉センター広見荘	広見	1,493.08	指定管理者	84,600	利用率	46.5%	47.7%	48.0%	46.3%
社会福祉センター田子浦荘	田子浦	1,105.80	指定管理者	84,600	利用率	38.9%	40.2%	37.0%	42.3%
社会福祉センター東部市民プラザ <sup>*3</sup>	吉永	1,507.29	指定管理者	141,000	利用率	23.9%	25.7%	28.9%	29.5%
東部デイサービスセンターほほえみの家 <sup>*3</sup>	吉永	274.50	民間	5,600	利用率	62.0%	67.6%	74.6%	64.9%
社会福祉センター鷹岡市民プラザ	鷹岡	1,458.61	指定管理者	84,600	利用率	48.3%	48.3%	49.8%	46.4%

\*1 民設民営化の予定

\*2 建物を無償貸与しているのみの施設のため、コスト等の評価はない

\*3 コスト等は併設する主たる施設(社会福祉センター東部市民プラザ)において評価

\*4 利用率=利用者数/年間利用可能人数

A) 養護老人ホーム：老人福祉法に基づく老人福祉施設の一つで、常時介護の必要はないが、環境上の理由及び経済的な理由などから、居宅における生活が困難な 65 歳以上の高齢者を養護するための施設。

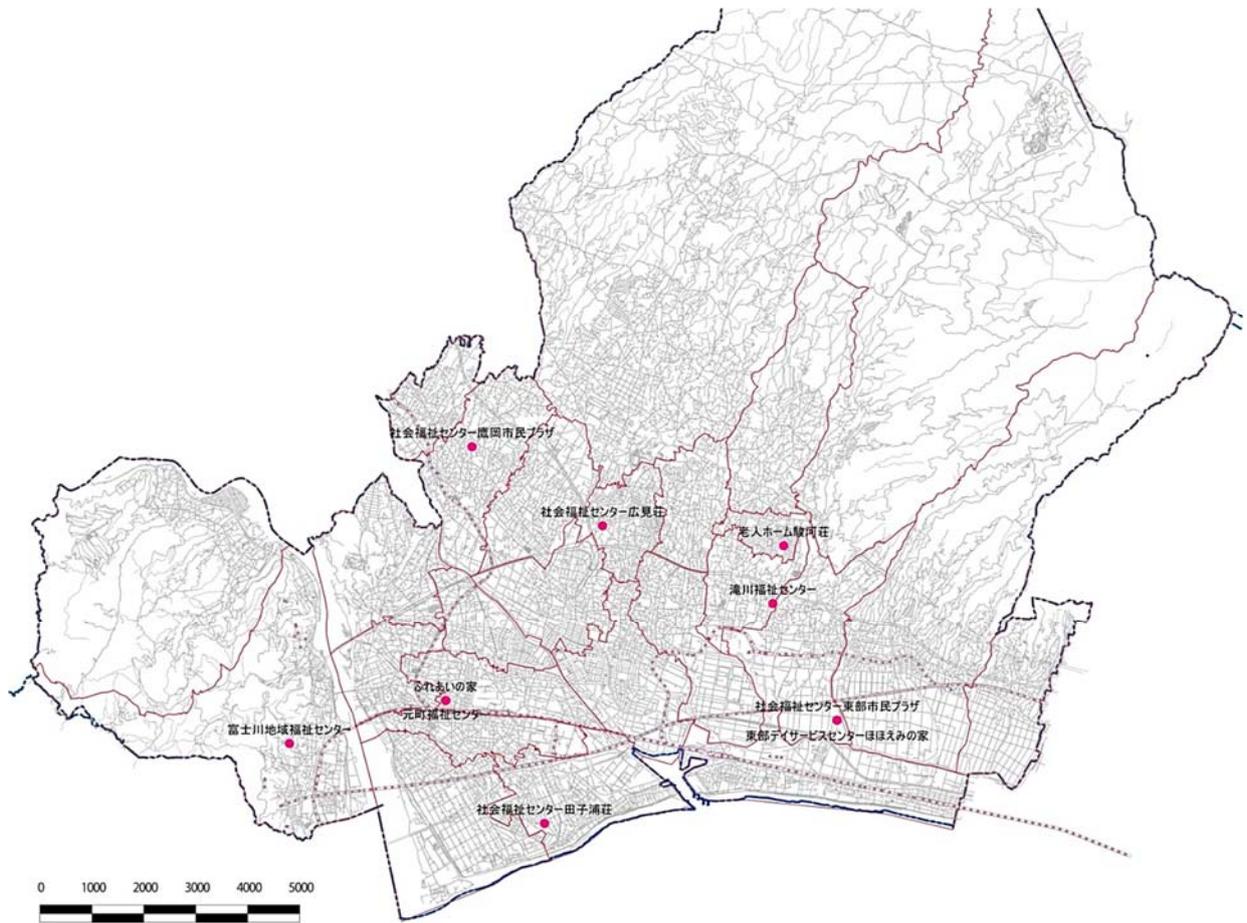


図 4-102. 高齢者福祉施設の配置状況

② 施設管理コストの推移

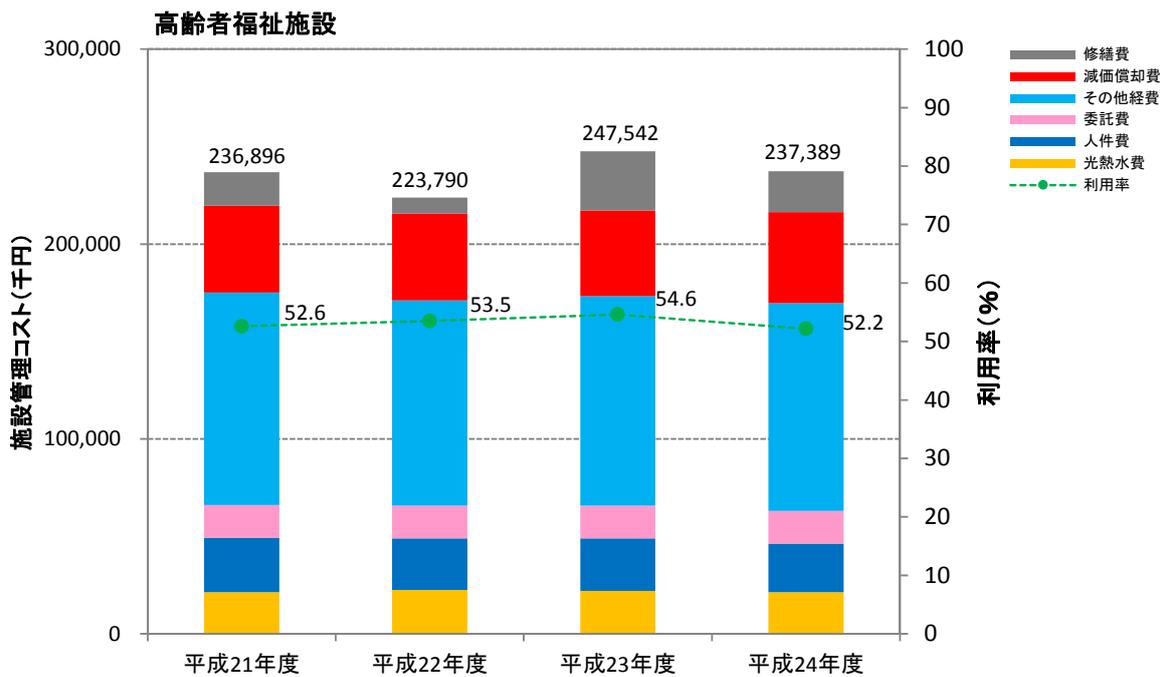


図 4-103. 高齢者福祉施設における施設管理コストの推移

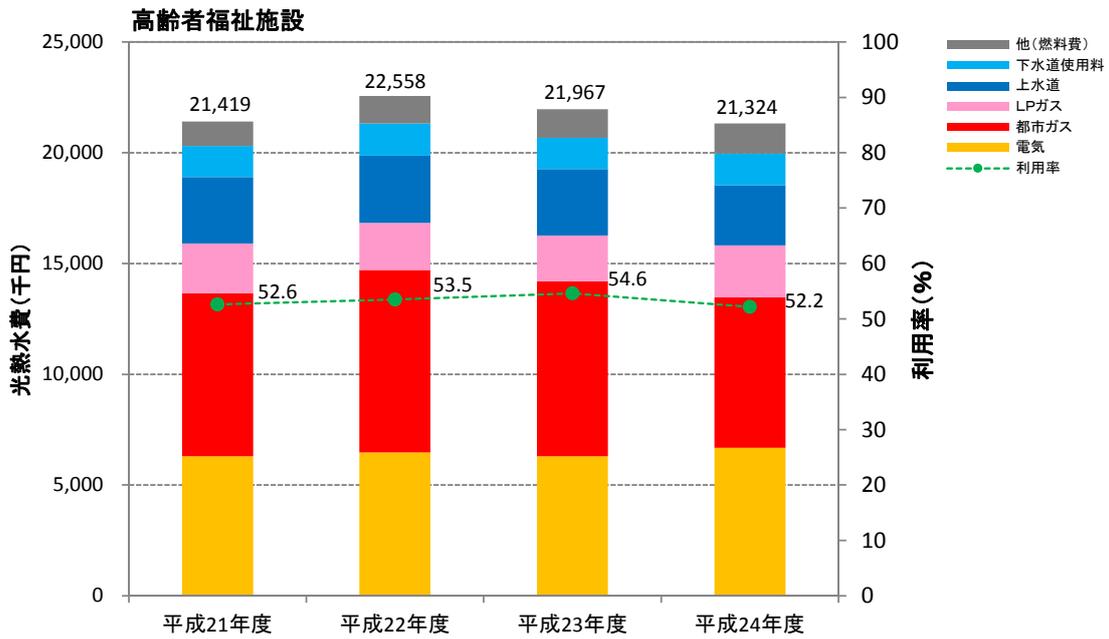


図 4-104. 高齢者福祉施設における光熱水費の推移

### ③ 施設管理コストの施設間比較

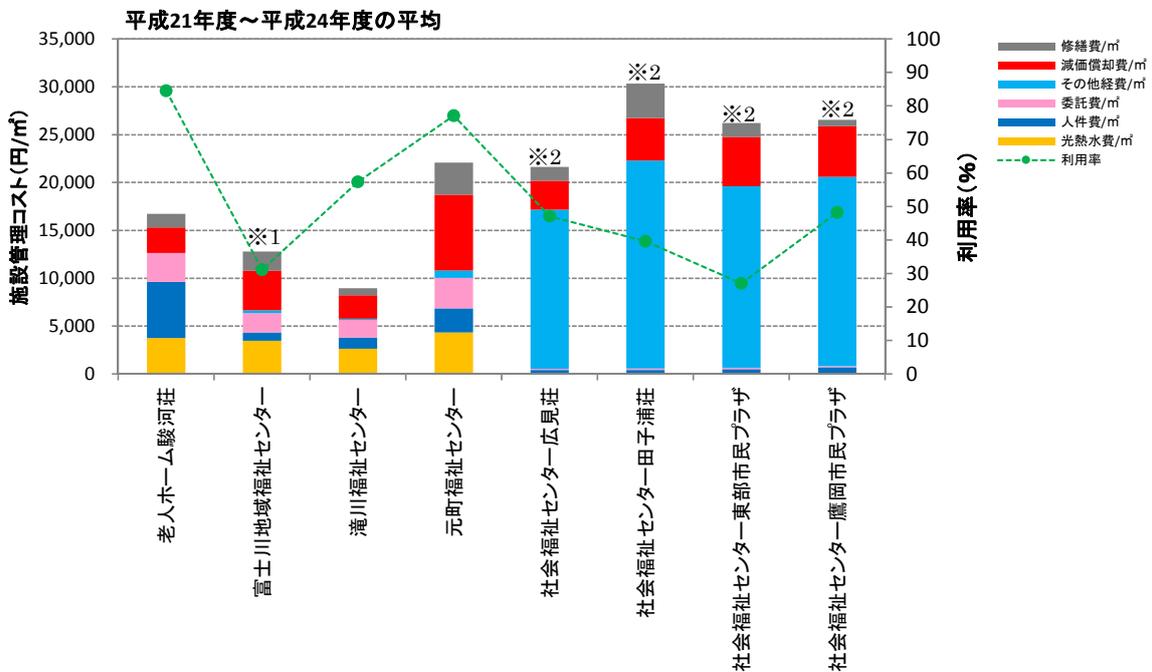


図 4-105. 単位面積当たり施設管理コストの施設間比較

※1 富士川地域福祉センターは直営ではあるが、光熱水費は市費でなく社会福祉協議会にて負担している。よって参考金額。  
 ※2 広見荘・田子浦荘・東部市民プラザ・鷹岡市民プラザのその他経費は、指定管理料。

#### ④ ポートフォリオ分析

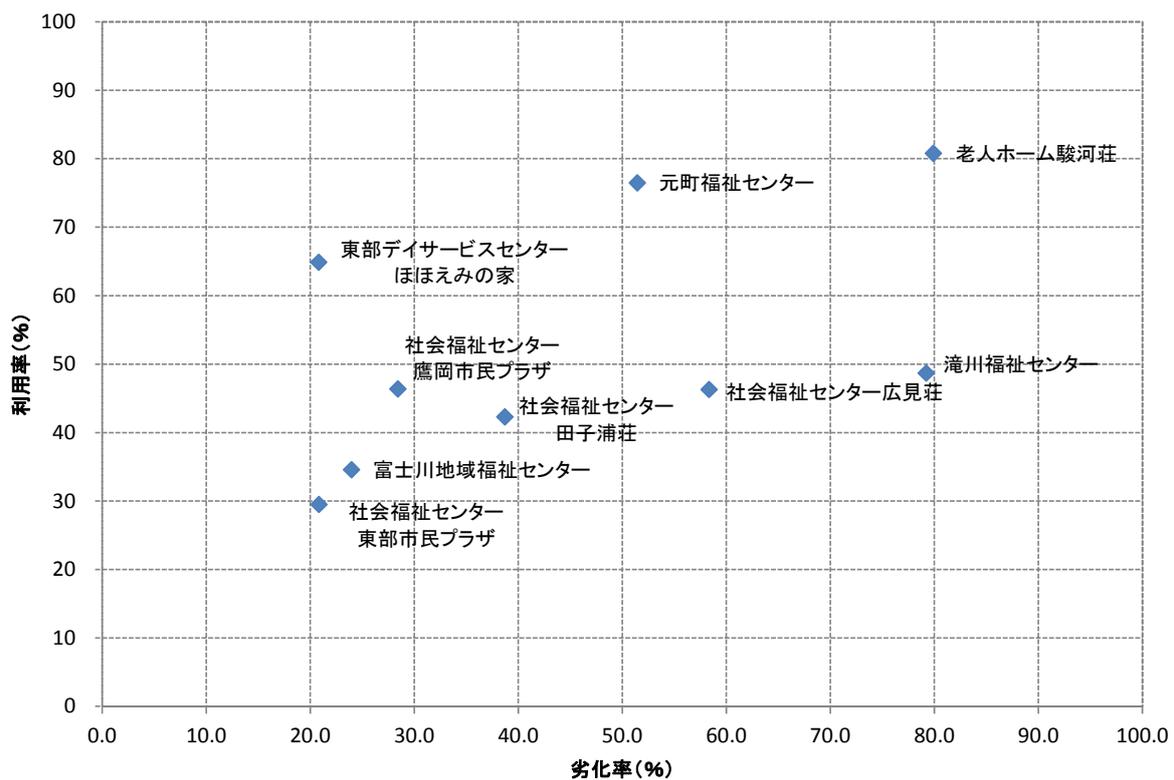


図 4-106. 劣化率と利用率の関係

#### ⑤ 補足説明

- 1) 総延床面積の4割強が建築後15年以上30年未満、6割弱が建築後30年以上となっており、今後、中規模改修、大規模改修、改築が多くなることが予想される。
- 2) 老人ホーム駿河荘は民設民営化への移行が決まっており、解体予定である。
- 3) 施設管理コストはほぼ横ばいの状況にある。
- 4) 富士川地域福祉センターは現在民間主体で運営されており、施設運営のあり方について見直しが求められている。
- 5) 社会福祉センターについては、これまで耐震補強工事を実施するなど、施設の整備を行ってきたが、老朽化は避けられず、将来的には大規模改修等が求められるため、施設のあり方についての検討が必要である。

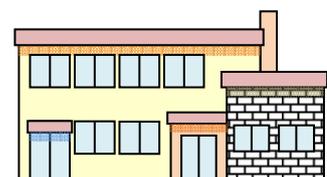
⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

老人ホーム駿河荘	平成 16 年度（2004 年度）	浴室改修（2 階から 1 階へ移設）
滝川福祉センター	平成 15 年度（2003 年度）	公共下水道接続
元町福祉センター	平成 18 年度（2006 年度）	耐震補強
社会福祉センター広見荘	平成 20 年度（2008 年度）	耐震補強
社会福祉センター田子浦荘	平成 23 年度（2011 年度）	耐震補強
社会福祉センター鷹岡市民プラザ	平成 23 年度（2011 年度）	冷暖房設備全面更新

★今後実施予定・計画中の工事等

老人ホーム駿河荘	平成 28 年度（2016 年度）	民設民営化予定
----------	-------------------	---------



## (17) 障害福祉施設

障害福祉施設は、通所により就労支援等を行う施設である「くすの木学園」、主に入所により18歳未満の知的障害を持つ児童に対して独立自活に必要な知識や技術を身につけ、社会適応できるよう支援していくための施設である「ふじやま学園」、心身障害の早期発見と早期療育を目的とした通所、相談施設である「こども療育センター」等があり、障害の程度等に応じて様々なサービスを提供している。

### ① 施設基本情報と配置

表 4-21. 障害福祉施設における基本情報及び利用状況

施設名	地区	運営	延床面積 (㎡)	年間利用可能 人数(人)	指標	利用状況			
						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
くすの木学園 <sup>*1</sup>	大淵	直営	2,789.49	11,900	利用率 <sup>*4</sup>	81.8%	86.0%	74.4%	84.4%
ふじやま学園 <sup>*1</sup>	大淵	直営	1,436.97	18,250	利用率	99.5%	98.2%	97.4%	96.5%
こども療育センター	広見	直営	719.32	-	利用者数(人/日)	-	-	-	-
市民ふれあいバンク <sup>*2</sup>	原田	民間	234.68	4,920	利用率	77.3%	85.0%	80.0%	100.0%
吉原つくし <sup>*2</sup>	吉原	民間	317.76	6,888	利用率	90.9%	100.0%	103.6%	103.6%
そびな寮	大淵	指定管理者	733.22	7,300	利用率	98.4%	98.4%	98.3%	98.5%
あおぞら第1寮	大淵	指定管理者	156.93	1,830	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
あおぞら第2寮	大淵	指定管理者	156.93	1,825	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
重度障害者生活訓練ホームひかりの丘	丘	指定管理者	274.22	5,120	利用率	96.1%	103.0%	103.5%	101.3%
みはら園 <sup>*3</sup>	広見	直営	756.36	60	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
療育相談室 <sup>*3</sup>	広見	直営	355.98	-	利用者数(人/日)	2.7	2.9	3.0	3.0

\*1 指定管理者に移行予定

\*2 建物を無償貸与している施設のため、コスト等の評価はない

\*3 コスト等は併設する主たる施設(こども療育センター)において評価

\*4 利用率=利用者数/年間利用可能人数



図 4-107. 障害福祉施設の配置状況

② 施設管理コストの推移

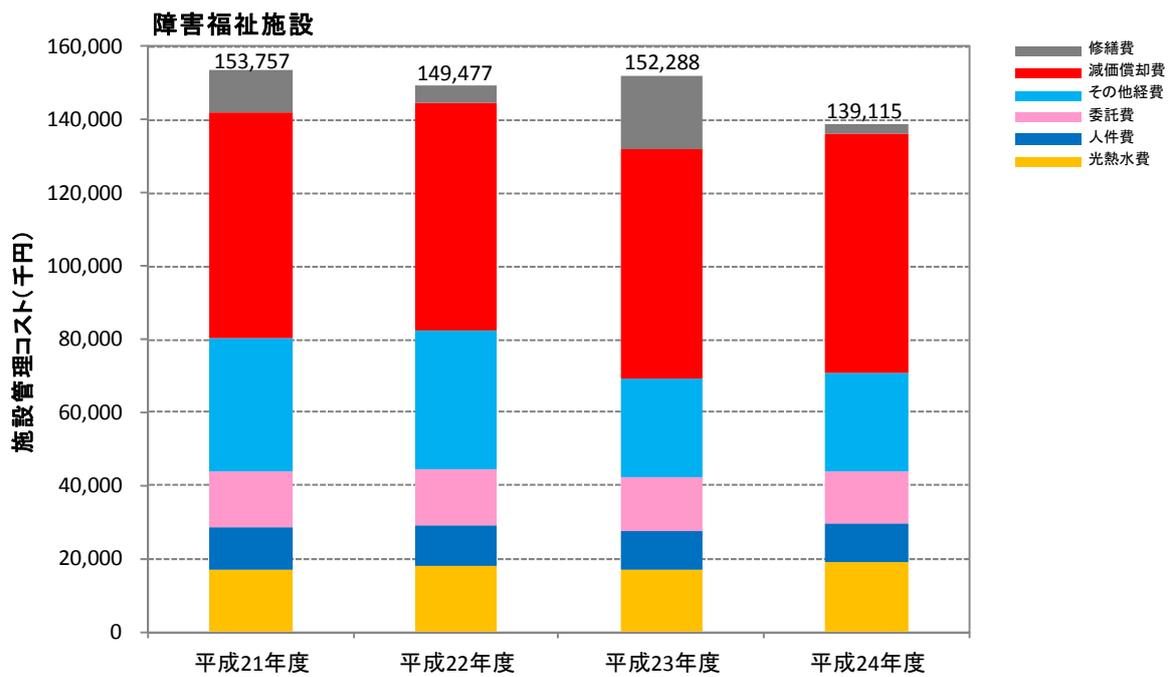


図 4-108. 障害福祉施設における施設管理コストの推移

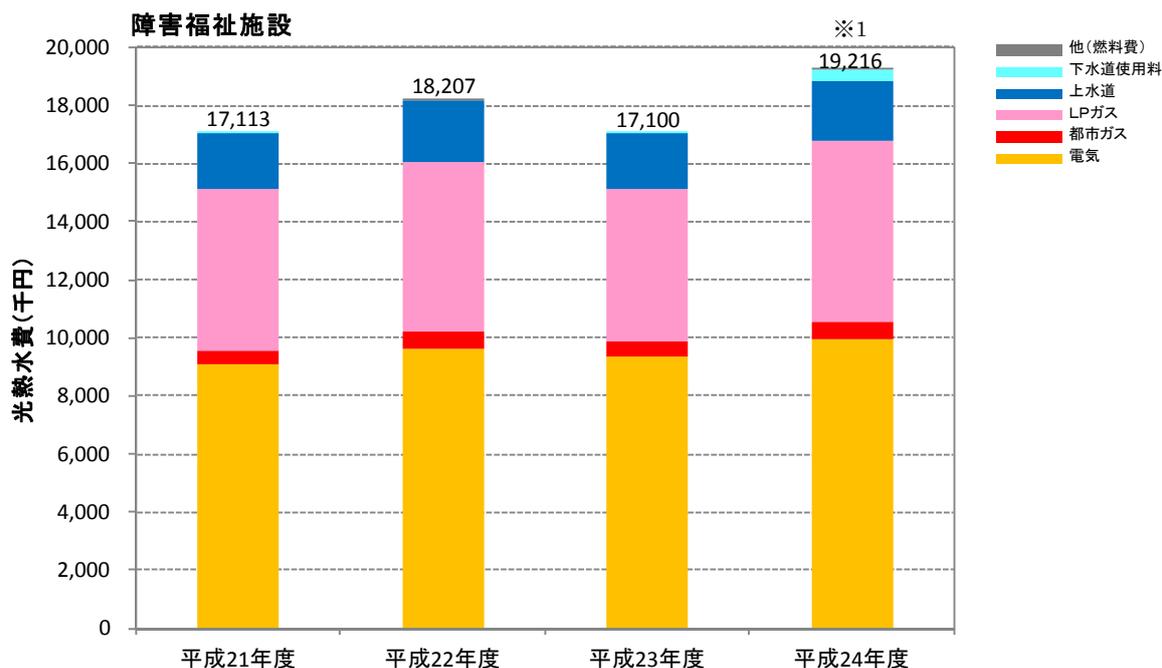


図 4-109. 障害福祉施設における光熱水費の推移

※1 平成 24 年度の下水道使用料が増えた要因は、こども療育センターが平成 23 年度途中から下水道に切り替えたため。

③ 施設管理コストの施設間比較

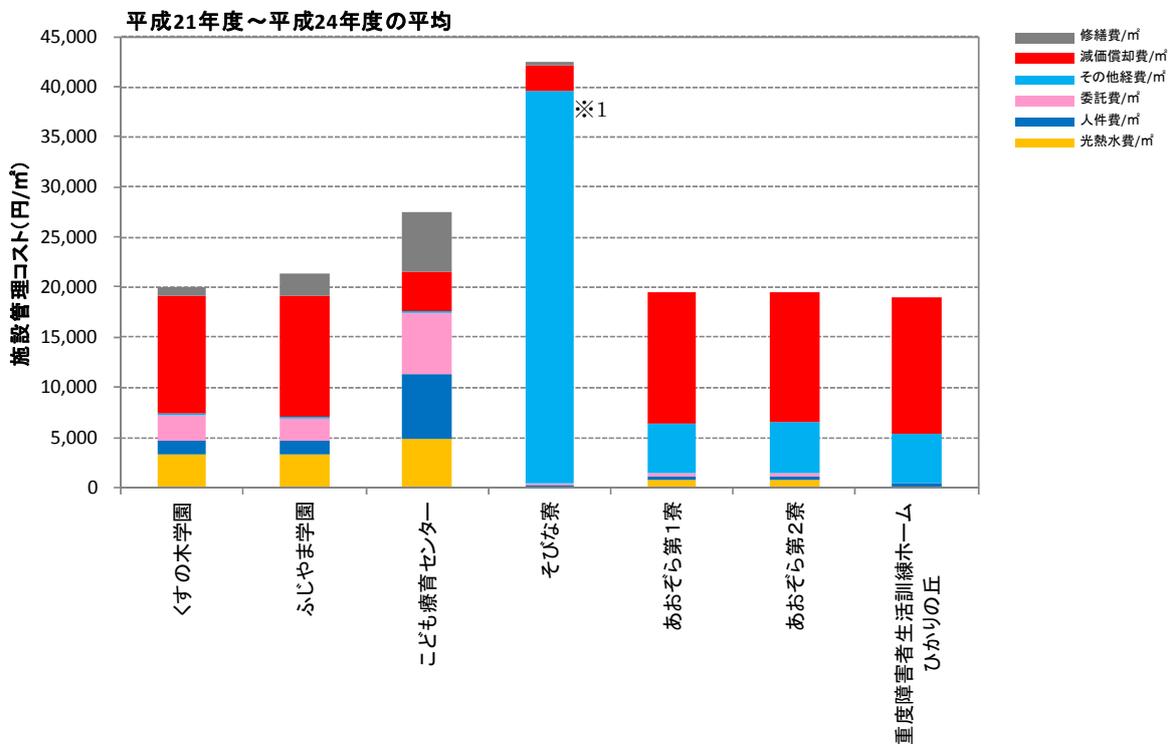


図 4-110. 単位面積当り施設管理コストの施設間比較

※1 そびな寮のその他経費の割合が大きい要因は、指定管理料。

④ ポートフォリオ分析

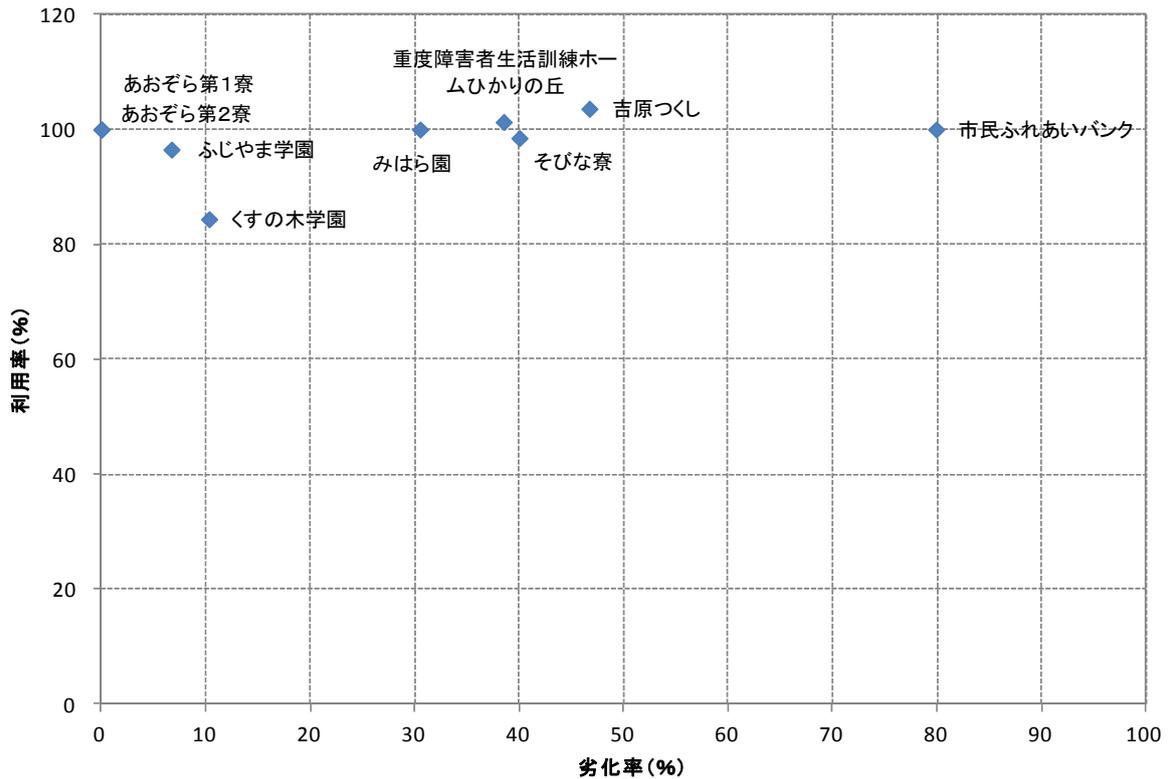


図 4-111. 劣化率と利用率の関係

⑤ 補足説明

- 1) 総延床面積の6割近くが建築後15年未満であり、比較的新しい建築物が多い。
- 2) 利用率はどの施設も100%近い状態になっている。
- 3) 施設管理コスト全体は減少傾向にあるが、光熱水費は平成23年度を除き、増加傾向にある。
- 4) 民間でも社会福祉法人等で一定のノウハウを有する分野であり、運営形態の見直しも必要と考えられる。
- 5) ひかりの丘は平成28年度から民間に譲渡を検討中。
- 6) くすの木・ふじやま学園は、時期は未定であるが、指定管理に移行する予定。

⑥ 改修等実施状況ならびに今後の計画等

★新築・改築・増築・改修等実施状況

くすの木学園	平成 16 年度（2004 年度）	ふじやま学園と共に福祉キャンパスとして改築
	平成 17 年度（2005 年度）	屋外便所増築
ふじやま学園	平成 16 年度（2004 年度）	くすの木学園と共に福祉キャンパスとして改築
	平成 17 年度（2005 年度）	旧建物解体
	平成 23 年度（2011 年度）	スプリングラー設置
そびな寮	平成 21 年度（2009 年度）	耐震補強
あおぞら第 1・2 寮	平成 15 年度（2003 年度）	1 寮と 2 寮を同時に新築
重度障害者生活訓練ホームひかりの丘	平成 20 年度（2008 年度）	増築
こども療育センター	平成 23 年度（2011 年度）	公共下水道接続
	※こども療育センターは、「みはら園」と「療育相談室」ならびに管理部門である「こども療育センター」の 3 施設で構成される建物	

★今後実施予定・計画中の工事等

くすの木学園・ふじやま学園	今後指定管理者による管理に移行予定
市民ふれあいバンク	今後民間が建て替えを予定
重度障害者生活訓練ホームひかりの丘	今後民間へ譲渡を検討中